

令和 2 年度使用
教科用図書採択選定資料
小学校用

宮城県教育委員会

目 次

1	国 語	国 語	1 ~ 4
		書 写	5 ~ 9
2	社 会	社 会	10 ~ 12
		地 図	13 ~ 14
3	算 数	15 ~ 20
4	理 科	21 ~ 26
5	生 活	27 ~ 34
6	音 楽	35 ~ 36
7	図画工作	37 ~ 38
8	家 庭	39 ~ 40
9	保 健	41 ~ 45
10	英 語	46 ~ 52
11	道 徳	53 ~ 60

発行者の番号・略称，及び，教科書の記号・番号，並びに書名は，「小学校教科書目録（平成32年度使用）」（平成31年4月 文部科学省）による。

種 目	国語	発行者の番号・略称	2	教科書の記号・番号	国語		書名	あたらしいこくご	
			東書		101	102		一上	一下
					201	202		二上	二下
					301	302		三上	三下
					401	402		四上	四下
					501			五	
					601			六	
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の目標に即し、「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」を一体的に育成できるよう内容が工夫されている。 ○ 単元ごとに学習を通じて育成する資質・能力を「言葉の力」として明確化し、重点的な学習によって基礎・基本が確実に習得できるよう配慮されている。 ○ 各単元を「つかむ」「取り組む」「ふり返る」の課題解決的な3ステップで組織し、児童が見通しを持ち、主体的に取り組むことができるよう工夫されている。 ○ 優れた表現を持つ多様な作品を教材化し、日本語の表現の豊かさや美しさを感じ取ることができるよう工夫されている。 ○ 児童の実生活に密接に関連した教材や今日的課題に関わる話題が偏りなく取り上げられており、資料の出所、出典も明らかである。 								
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 6年間を通じて系統的に単元が配列されている。4月を学習の基盤作りの期間と位置付け、そこで学習した重点内容を通年で活用できるよう配慮されている。 ○ 1単元1領域を原則として指導事項を重点化するとともに、単元全体の中心的な課題となる「単元の問い」を提示し、ねらいを明確に示すよう工夫されている。 ○ 各領域の指導事項の系統化が図られ、螺旋的・反復的な学習を通して基礎的な力が着実に積み上げられるよう配慮されている。 ○ 単元や教材の数、領域のバランスが適切であり、2学期制、3学期制のいずれの年間計画にも適合できる。 ○ 教材の配列は、児童の生活や各地域の実態に広く適合できるものである。入門期の教材は、スタートカリキュラムに対応しており、児童が楽しく学べるよう工夫されている。 								
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語科の学習の進め方等を示して、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させるとともに、それらを活用しようとする態度が身に付くような学習活動が工夫されている。 ○ 各単元の学習において、児童が自らの学習課題を明確にして取り組み、対話的な学習の中で課題解決を図ることができるよう配慮されている。 ○ 学習の進め方や文例を具体的に示すなど、児童の多様な個性や能力に応じて主体的に学習できるよう配慮されている。 ○ 単元末に設けた「生かそう」において、国語科で学んだことを他教科等の学習や日常生活に生かす観点が示されている。 ○ 単元のねらいと、それに合わせた言語活動について具体的な観点が示されている。また、教材の理解を助ける図表やDマーク（デジタルコンテンツ）等が配置され、学習効果を高めるための配慮がなされている。 								
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表記の基準が統一されており、児童の発達の段階に即した表現が使われている。未習の漢字にルビを用いて熟語を表記するなど、児童が読みやすい表現になるよう配慮されている。 ○ 巻頭には、色鮮やかな挿絵と学習意欲を喚起する詩が掲載されている。モデルとなる児童のイラストやキャラクター等を活用し、児童が親しみを持てるよう配慮されている。 ○ 児童の発達の段階や学習内容に応じた文字の大きさとなっている。色覚の多様性に対する配慮がなされており、印刷も鮮明である。 ○ 教材内容に合わせて、挿絵や写真等を適宜配置し、児童の理解の助けとなるよう工夫されている。全体のレイアウトやバランスも考慮されている。 ○ 十分な強度と軽量化が図られた用紙を使用しており、堅ろうな製本となっている。再生紙や植物油インキを使用し、環境への配慮がなされている。 								

種 目	国語	発行者の番号・略称	11	教科書の記号・番号	国語	書名	みんなとまなぶ しょうがっこう こくご 一ねん 上 一ねん 下 みんなと学ぶ 小学校こくご 二年 上 二年 下 みんなと学ぶ 小学校国語 三年 上 三年 下 みんなと学ぶ 小学校国語 四年 上 四年 下 みんなと学ぶ 小学校国語 五年 上 五年 下 みんなと学ぶ 小学校国語 六年 上 六年 下
			学図				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の特質を理解し、適切に活用できるよう言語要素や言語の決まりが系統的に配列されるとともに、それらを活用し、伝え合う力が着実に身に付くよう配慮されている。 ○ ねらいや技能を焦点化した「文章の書き方・まとめ方」が設定されており、国語の基礎力を育成できるよう構成されている。 ○ 単元の冒頭で活動の概要を一覧で提示したり、重要項目に網掛けをしたりすることで、児童が課題意識を持って学習に取り組むことができるよう工夫されている。 ○ 文字や語彙、文法、表記等に関する指導事項を取り上げて教材化し、日常生活や他教科の学習にも生かせるよう工夫されている。 ○ 情報、環境、防災等、今日的な教育課題に関する幅広い教材があり、他教科の学習や社会の変化を意識した内容になっている。資料の出所、出典も明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習過程の構造化を図り、見通しや目的意識を持って学習に取り組めるようにするとともに、振り返りの観点を示し、次の学びにつなげることができるよう工夫されている。 ○ 単元の目標やめあてを焦点化した「学習のてびき」が明示してあり、児童が主体的に取り組めるよう配慮されている。 ○ 説明文の教材の後に書くことの教材を設定するなど、習得した知識や技能を発展的に活用し、反復的・螺旋的に学びが積み上げられるよう配慮されている。 ○ 各領域の内容や言語活動が上下巻に配置されており、2学期制、3学期制にも柔軟に対応できるよう配慮されている。 ○ 環境や防災、国際理解等、幅広い教材を取り上げており、児童の生活や各地域の実態に配慮された内容となっている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 育成したい資質・能力を総合的に捉え、領域で付けたい力を相互に関連させながら学習を進め、系統的・段階的に言語活動が積み上げられるよう配慮されている。 ○ 児童の興味・関心や発達の段階を考慮した取り組みやすい題材を教材化しており、主体的・対話的な学習が促され、伝え合うことの喜びを味わえるよう配慮されている。 ○ 巻末にある「広げよう たしかめよう」の中で、授業で使う言葉や学習を進めるための大切な項目をまとめることで、児童が自分の課題に合わせて学習できるよう配慮されている。 ○ 資料を用いた発表や、グラフ・表を取り入れた書く活動等、他教科の学習でも活用できる言語活動を多く取り入れている。 ○ 「学習のてびき」が見開きで示されており、児童自らが見通しを持って、主体的に学習に取り組むことができるよう配置が工夫されている。また、挿絵や図表等が学習内容に合わせて効果的に示されており、QRコードも掲載されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年の発達の段階に応じた表記や表現が工夫されており、ユニバーサルデザインの観点から、色だけでなく形や模様なども識別できるよう配慮されている。 ○ 児童が親しみを持ち、想像を膨らませることができるような写真や挿絵が適所に配置されている。 ○ 発達の段階に応じた活字の大きさになっている。用紙の色合いや印刷の色調等にも配慮されており、印刷も鮮明である。 ○ 単元ごとに図や表が適宜配置されており、児童が視覚的に捉える助けとなっている。 ○ 環境に配慮された紙と植物性インクを使用しており、製本は堅ろうである。 						

種 目	国語	発行者の番号・略称	17	教科書の記号・番号	国語 105 106 205 206 305 306 405 406 505 506 605 606	書 名	ひろがることば しょうがくこくご 一上 一下 ひろがることば 小学国語 二上 二下 ひろがる言葉 小学国語 三上 三下 ひろがる言葉 小学国語 四上 四下 ひろがる言葉 小学国語 五上 五下 ひろがる言葉 小学国語 六上 六下
			教出				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 系統的な学習を意図して単元のねらいを明確にし、多様な言語活動を設定することで、児童が自ら学び、自ら考える力を身に付けられるよう工夫されている。 ○ 学習の展開や段階を明示し、指導事項を重点化することで、基礎的・基本的な力が身に付くような構成になるよう配慮されている。 ○ 各巻の冒頭に学習内容や身に付ける力を示すなど、児童が見通しを持ち、主体的に取り組むことができるよう工夫されている。 ○ 多様な言語活動や作品が教材化されており、学校内や地域等に広がる活動を設定するなどして、学習の充実と発展を図るよう工夫されている。 ○ 各領域の指導事項と言語活動が多様な分野から偏りなく取り上げられており、資料の出所、出典も明らかである。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 複数の領域を関連させた「関連単元」と、領域を絞った「基本単元」を組み合わせており、学習の効果が上がるよう工夫されている。 ○ 単元の目標や学習過程が明確化されており、単元のねらいに沿った学習活動が行えるよう工夫されている。 ○ 各領域の学習事項において、習得した学習内容の繰り返しを図りながらステップアップすることで、学びを積み重ねられるよう配慮されている。 ○ 上下巻に各領域の内容が配分されており、2学期制、3学期制等、柔軟に対応できるよう配慮されている。 ○ 地域的な偏りがなく、防災教育や食育等の今日的課題を取り上げており、児童の生活や地域の実態に幅広く適合できる。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「読むこと」の単元では、導入に学習のねらいに沿った言語活動を行うことで、基本的な知識や技能を習得し、それらを活用していこうとする学習態度が身に付くよう工夫されている。 ○ 学習過程の中に見通しと振り返りの過程を位置付けるとともに、各教材に学び合いの場を設けることで、主体的・対話的な学習を促すよう工夫されている。 ○ 既習事項のまとめや発展的な教材が巻末に示されており、児童が自分の課題に合わせて学習を進められるよう配慮されている。 ○ 単元の終わりや巻末に、学習の重点や学習用語を整理した「ここが大事」「学ぶときにつかう言葉」を設け、他教科での活用にも広げられるよう配慮されている。 ○ 単元の終わりに手引きのページが配置され、単元のねらいと、それに合わせた学習過程が具体的に明記されている。また、挿絵や図表、QRコード等も効果的に配置されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年に常体と敬体の教材文が取り入れられており、発達の段階に応じて、児童が読みやすい表記や表現となるよう配慮されている。 ○ 表紙は2学年ごとに同じテーマで描かれており、優しい色合いで、児童が親しみを持てるよう配慮されている。 ○ 児童の発達の段階や教材に合わせた活字の大きさになっており、学習のポイントとなる部分を色分けするなど、見やすくするための工夫がされている。印刷も鮮明である。 ○ 教材の内容に合わせて、写真や図表、イラスト等が適宜配置されており、学習の理解を促すような工夫がされている。 ○ 再生紙と植物油インキを使用しており、環境への配慮がなされている。表紙には耐久性を高める加工が施されており、堅ろうな製本となっている。 						

種 目	国語	発行者の番号・略称	38	教科書の記号・番号	国語 107 108 207 208 307 308 407 408 507 607	書 名	こくご一上 かざぐるま こくご一下 ともだち こくご二上 たんぼぼ こくご二下 赤とんぼ 国語三上 わかば 国語三下 あおぞら 国語四上 かがやき 国語四下 はばたき 国語五 銀河 国語六 創造
			光村				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日常生活に必要な国語の特質について理解し、様々な場面で主体的に活用しながら、生きて働く「知識及び技能」として習得できるよう内容が工夫されている。 ○ 言葉の力を伸ばすために、学びのつながりを意識して単元・教材が設定されており、基礎的・基本的な知識・技能が習得できるよう構成されている。 ○ 児童にとって身近な話題・題材が集められており、児童が自分のこととして課題意識を持ち、意欲的に学習に取り組めるよう工夫されている。 ○ 児童の言語環境や発達の段階に応じて多様な作品や言語活動が教材化されており、知識・技能を確実に習得し、様々な場面で活用できるよう配慮されている。 ○ 伝統文化や防災、自然環境等について、幅広い分野から教材が取り上げられており、資料の出所、出典も明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な内容が着実に身に付けられるよう、6年間を見通して系統的・段階的に単元が配列されている。 ○ 単元の冒頭に教科の目標を踏まえた各単元のねらいが明確に示されており、児童が見通しを持って学習に臨むことができるよう工夫されている。 ○ 「たしかめよう」で既習の単元を振り返ったり、「たいせつ」「いかそう」で身に付けた力を他の単元や他教科の学習等に生かしたりできるよう工夫されている。 ○ 単元や教材の数、学習する領域の数のバランスが適切であり、3学期制と2学期制のいずれの年間指導計画にも適合できる。 ○ 教材には地域的な偏りがなく、国際的視野が育つよう構成されている。また、地域や地域文化への関心を高め、理解を深めることができるような単元が設定されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な知識・技能を系統的に扱うとともに、思考・判断・表現等をもとに場面面で活用できるよう、多様な言語活動をもとに学習活動が設定されている。 ○ 学習全体を見通す、振り返るなどの場面を設定したり、グループ等で話し合う場面を位置付けたりするなど、主体的・対話的な学びが展開できるよう工夫されている。 ○ 児童の理解に応じて活用できる付録「学習を広げよう」が設定されている。また、用語解説等にはマークを付し、情報のまとまりを認識しやすいよう配慮されている。 ○ 英語や食育、環境についての学習と関連付けられるような題材を設定し、他教科の学習と有機的な関連が図れるよう配慮されている。 ○ 学年の巻末には、付録として学習の補充、発展につながる教材が掲載されている。また、学習効果を高めるため、図表や指導内容に連動したデジタル資料が配置されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全学年にわたって表記の基準が統一されている。発達の段階に応じて、児童が読みやすい表記や表現となるよう配慮されている。 ○ 児童が学習への興味や関心を持つとともに理解の助けとなるよう、適所に挿絵や写真が掲載されている。 ○ 活字の大きさや書体は、児童の発達の段階に応じてはっきりと認識しやすいよう配慮されている。配色や色調も色覚特性に配慮したものとなっている。 ○ 写真や図、グラフが適所に配置されており、教材本文の理解を促すとともに、イメージを広げられるよう工夫されている。 ○ 表紙には耐久性を高める加工が施されており、製本は堅ろうである。印刷は、環境への負荷に配慮し、重量が軽く色の裏写りが少ない用紙と植物性インキを使用している。 						

種 目	書 写	発行者の番号・略称	2 東書	教科書の記号・番号	書写 1 0 1 2 0 1 3 0 1 4 0 1 5 0 1 6 0 1	書 名	あたらしい しよしゃ 一 新しい しよしゃ 二 新しい書写 三 新しい書写 四 新しい書写 五 新しい書写 六
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された知識・技能の指導事項が確実に習得できるような内容になっており、学年ごとの積み上げが重視され、文字を正しく書くための工夫がされている。 ○ 全学年に「文字のいずみ」が設定され、俳句・短歌や古文・漢文、日本の文字の歴史に触れるなどの伝統と文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮されている。 ○ 児童が見通しを持って意欲的に取り組めるように、全学年の巻頭折込に「書写の学び方」が掲載され、「何をどのように学ぶのか」が明示されている。 ○ 各教科の学習内容に関連した教材が充実している。硬筆書体による漢字一覧、第3学年以上には、毛筆書体による漢字一覧表もあり、毛筆と硬筆の関連指導への配慮が見られる。 ○ 掲載されている作品及び文章は、出典が明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 指導事項を「書写のかぎ」と表現し、児童の発達の段階に応じて重点化が図られている。更に、知識・技能を定着させるため、繰り返し学習ができるよう系統的に配列されている。 ○ 一単元の一つの「書写のかぎ」があり、単元のねらいが焦点化されている。スモールステップで学習が展開され、全員が達成感を味わうことができるように工夫されている。 ○ 第3学年以上では、毛筆教材と硬筆教材とが交互に設置されている。硬筆文字から課題を発見し、毛筆文字に書くことで知識・技能の定着を図っている。更に、硬筆で他の文字を書くことで、深い学びになるように構成されている。 ○ 児童の発達の段階に応じた教材が、硬筆、毛筆ともに適切な分量で設定されており、各学校の年間指導計画に柔軟に対応できるように工夫されている。 ○ 目的に応じて手紙やポスター、招待状を書くなどの教材が配置され、児童の日常の生活や地域へ広がりのある活動につなげることができるよう配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「何をどのように学ぶのか」が一目で分かる年間の学びを見通すイラストマップが巻頭に示されており、主体的に学ぶ意欲が引き出される構成となっている。 ○ 「見つけよう」「たしかめよう」「生かそう」「ふり返って話そう」「生活に広げよう」と見通しを持って主体的に学ぶ工夫がされている。特に、「ふり返って話そう」では、学習したことを対話で言語化することで深い学びが実践できるよう工夫されている。 ○ 点画を色分けしたり、擬態語やキャラクターの動きを加えたり、運筆能力向上のために水書学習を取り入れたりするなど、児童の特性に合った指導が展開できるようになっている。 ○ 「生活に広げよう」では、書写で学んだ知識・技能を他教科や日常の生活に活用できるよう工夫されている。 ○ デジタルコンテンツが活用できるよう、目次や各ページに「Dマーク」が掲載されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3学年以上の教材には、書写の指導事項に関するインデックスが「書写のかぎ」として用いられ、書写用語の確認や知識・技能の定着を図ることができるような構成になっている。 ○ 文章は的確で簡潔に表現されている。学年段階に応じて、キャラクターが問い掛けるような表現となっており、親しみが持てるよう工夫されている。 ○ 毛筆教材の手本は、半紙の配列に考慮し、半紙の縦横比率に合うよう工夫されている。印刷は明瞭で、イラストや図面に使う色の数や分量が調整されており、見やすく工夫されている。 ○ AB版の紙面で図版が大きく活用しやすい構成となっている。文字の世界を舞台にしたイラストが表紙に描かれ、想像力を豊かに膨らませることができよう工夫されている。 ○ 鉛筆で書き込みができ、軽量で耐久性に優れた加工が施されている。さらに、環境に配慮した再生紙や植物性インキが使用されている。 						

種 目	書 写	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	書 写 1 0 2 2 0 2 3 0 2 4 0 2 5 0 2 6 0 2	書 名	みんなとまなぶ しょうがっこうしょしゃ 一ねん みんなと学ぶ 小学校しょしゃ 二年 みんなと学ぶ 小学校 書写 三年 みんなと学ぶ 小学校 書写 四年 みんなと学ぶ 小学校 書写 五年 みんなと学ぶ 小学校 書写 六年
			学図				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された目標に従い、「三つの柱」や2学年のまとめごとを重視し、確実に知識・技能を積み上げることができるように工夫されている。 ○ 「なに?なぜ?書写の不思議」を設定して文字や用具の歴史を取り上げ、伝統文化に触れさせるとともに、国語への興味・関心を高めることができるように配慮されている。 ○ 各学年に「学習の進め方」が示されており、それに準拠した単元の流れとなっていることで、書写の学び方が自然と定着するように工夫されている。 ○ 各学年に、1年間の学習を生かして取り組むまとめの学習が設定されており、学習内容の定着と発展的な学習に配慮されている。 ○ 題材や資料については、出所や出典が明示されている。6年生では、発展的な学習として選択して取り組むことができる行書を紹介するページがある。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3学年以上では、毛筆教材の学習後に硬筆教材が配置されている。「生かして書こう」の段階で、毛筆の学習で習得した技能を硬筆に生かすことができるように配列されている。 ○ 各学年の巻頭には、当該学年の目標が目次や「この教科書の使い方」とともに明示されており、学習の進め方を確かめながら、1年間の見通しを持って学習に取り組むことができるように工夫されている。 ○ 単元が「確かめて書こう→考えて書こう→生かして書こう→ふり返ろう」の4部構成になっており、技能やポイントについて、段階的に習得・活用させる配列になっている。 ○ 指導事項の2学年ごとのまとめを意識した内容と分量になっており、無理のないように配慮されている。各学校の実態に応じた柔軟な年間計画が可能である。 ○ 巻末に「書写の資料館」が設定されており、学習したことが日常生活や地域連携活動等にも生かすことができるように工夫されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「書き方のカギ」を設定してポイントを強調して示し、書くことができるようになるための見方・考え方が養われるように工夫されている。 ○ 「確かめて書こう」で示す教材には、児童が深い学びを实践できるよう、キャラクターの言葉で着眼点の例を示し、児童自ら課題を発見し、追求できるように工夫されている。 ○ 教科書に直接書き込みができる欄が数多くあり、利き腕を問わず学習できるように配慮されている。 ○ 他教科と関連する教材を幅広く取り入れている。特に、硬筆教材に著名な文学作品の一説がある。 ○ 第3学年以上では、「毛筆の学習の進め方」が示されており、学習のめあてを確認しながら「骨書き」「かご書き」等ができるように配慮されている。また、ウェブページにつながるQRコードが適宜示されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低学年では、分ち書きで表記されており、説明を理解しやすいように配慮されている。 ○ 表情豊かなキャラクターが学習のポイントを説明し、児童が親しみを持って学習に取り組むことができるよう配慮されている。 ○ 文字は児童が読みやすいフォントを採用し、大きさも発達の段階に配慮している。印刷は鮮明で、読みやすさを重視した色調となっている。 ○ 4段階の学習過程が分かりやすいレイアウトとなっている。毛筆教材については、開いてそのまま使えるように原寸大で掲載してある。 ○ 軽量で扱いやすい製本となっている。再生紙や植物油インキを使用し、児童や環境に配慮している。 						

種 目	書 写	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	17 教 出	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	書 写 103 203 303 403 503 603	書 名	しょうがく しょしゃ 一ねん 小学 しょしゃ 二年 小学 書写 三年 小学 書写 四年 小学 書写 五年 小学 書写 六年
1 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示されている指導事項を踏まえ、各学年の重点指導事項が児童の発達の段階に応じて系統的に示されている。 ○ 感性豊かな心を育むために、書くことで日本語の美しさを体感でき、心が豊かになるような教材語句や文章が選定されている。 ○ 各学年の指導事項が「学習すること」として巻頭に明示されており、見通しを持って学習を進められるように配慮されている。また、「考えよう」で学習課題が提示されており、課題意識を持ち、主体的に学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 第2学年以上では、「はってん」のコーナーが設けられ、第2学年では毛筆、第6学年では行書体等の先の学習を示すことで、意欲付けとなるように工夫されている。 ○ 国語の教科書と関連した古典文学が掲載されており、出典も明示されている。 						
2 組 織 関 連 と す 配 列 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毛筆での学びを硬筆に生かし、定着を図るといった学習の効果を上げる配慮がされている。 ○ 各学年の指導事項が「めあて」として示され、何を学ぶのか明確に位置付けられている。また、学習の系統を確認し、学習の見通しが持てるように配慮されている。 ○ 文字の書き方の秩序性を理解し習得するために、姿勢、筆使い、字形の整え方等の基礎的・基本的な学習内容を、写真や図版、平易な解説を見て、児童が自ら実践できるように工夫されている。 ○ 限られた時数で学習効果が上がるように、学年に応じた無理のない教材の分量が設定されており、各学校の指導計画に柔軟に対応できるようになっている。 ○ 作品カード、地域への手紙等、児童の生活に根ざした内容を取り扱っている。 						
3 学 習 関 連 と す 指 導 の こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「鉛筆の持ち方」と「用具の扱い方」の基礎的・基本的な知識及び技能を押さえ、日常生活や学習活動において主体的に実践できるような構成となっている。 ○ 「学習の進め方」が掲載されており、見通しを持って主体的に学習に取り組めるように配慮されている。また、書写の学習用語が提示されており、対話的な学びの場面で活用できるようになっている。 ○ 運筆能力が高まるよう第1学年の巻末には水書用紙が付いている。また、書き間違いやすい文字を重点的に取り扱い、特別支援教育にも配慮した教材構成となっている。 ○ 「レッツ・トライ」のページが設定されており、習得した力をノートやポスター等、日常生活や教科横断的な学習活動に活用できるように工夫されている。 ○ ウェブサイトのアドレスを目次に掲載し、学習に役立つ情報が提供されている。 						
4 表 現 関 連 と す 裁 こ 等 に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 運筆方法を具体的な言葉で示すなど、平易で簡潔な文章表現がされている。 ○ 運筆を表すイラストは、親しみやすい動物が「とん」「すうっ」等の動作で示し、イメージを持って楽しく理解できる工夫がされている。 ○ 手書き文字に近いユニバーサルデザインフォント書体を用いている。また、判読しやすい配色が施されている。 ○ 見開きを基本とした使いやすいレイアウトとなっている。また、姿勢図、用具の持ち方や扱い方が、鮮明なカラー写真を用いて見やすい大きさに示されている。 ○ 表紙は撥水加工がされており、水や墨汚れに強い造本となっている。また、環境に優しい再生紙と植物油インクが使用されている。 						

種 目	書 写	発行者の番号・略称	3 8 光村	教科書の記号・番号	書写 1 0 4 2 0 4 3 0 4 4 0 4 5 0 4 6 0 4	書 名	しよしゃ 一ねん しよしゃ 二年 書写 三年 書写 四年 書写 五年 書写 六年
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された目標を踏まえ、2学年ごとの指導事項が確実に習得できるよう、ねらいを焦点化して単元・教材が作成されている。 ○ 教材として扱われている言葉や文章には、夢や希望につながる内容が多く用いられており、書写の学習を通して、高い志と豊かな心を育てることができるよう配慮されている。 ○ 第3学年以上には、巻頭に「学習の進め方」を写真入りで示し、高学年には、年間のめあても明示することで、児童の発達の段階に応じて学習意欲を高めるよう工夫されている。 ○ 巻末に、資料として「もっと知りたい」や「発展」を設定し、児童の興味・関心に沿って発展的な学習につなげられるよう工夫されている。 ○ 児童の発達の段階や興味・関心を考慮し、言葉として価値のある文字を選んだり、国語科教科書と関連付けた教材を用いたりすることで、教材文字を偏りなく取り扱うよう工夫されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 毛筆・硬筆とも、学習指導要領の「学年別漢字配当表」に準拠している。毛筆での学習を硬筆へ生かし、学習効果を上げられるように教材が配列されている。 ○ 学習指導要領に示されている学習内容に合致し、単元のまとまりごとのねらいに沿って、それぞれの教材におけるねらいが焦点化されている。 ○ 基礎的・基本的な内容として、全学年に「書くときの姿勢」や「学習の進め方」を写真入りで掲載し、点画を意識させるために、「空書き」や「水書シート」を設けている。 ○ 全学年において、国語科の教科書と連動した教材を二つ以上設定し、国語科と一体的に扱うことで、学習活動の必要性を高め、配当数時間のゆとりを生み出すよう配慮されている。 ○ 目的に応じて御礼の手紙やポスターを書いたり、調べたことをまとめたりする活動にもつながるように教材が配列され、日常生活や地域との関わりにも配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第2学年以上では、各学年で学習する書写用語や学習のポイントを、「たいせつ」マークを用いて明示し、基礎的・基本的な知識・技能を定着させるよう工夫されている。 ○ 巻頭に「学習の進め方」を掲載し、「考えよう」「確かめよう」「生かそう」の三つの段階で学びの流れを提示することで、主体的・対話的な学びを促すよう工夫されている。 ○ 情報の精選、字体の配慮、イラストの挿入、誰もが明確に識別できる配色等の工夫により、多様な個性への対応が配慮されている。 ○ 横書きの書き方や原稿用紙の使い方、模造紙に書く際の注意等を扱う教材を設定し、他教科や総合的な学習の時間との関連が図られるよう配慮されている。 ○ 資料内容の見出しに隣接した位置に二次元コードのマークを付し、学習活動に役立つ動画資料を端的に示す工夫がされている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の発達の段階を踏まえ、平易で簡潔な文章表現をするよう配慮されている。 ○ 全学年共通で、猫と学年相当の児童がキャラクターとして用いられており、児童の意欲を喚起するとともに、親しみながら学習要素を視覚的に理解できるよう工夫されている。 ○ 主たる学習要素は大きく、それに付随する要素は小さく簡潔に示すことで、情報に軽重が付けられ、大切なことを把握しやすいよう工夫されている。 ○ 紙面に対する図表の大きさが考慮されており、見やすく配置されている。どの単位においても、ねらいの設定から振り返りまでの流れが、ページの同じ位置に配置されており、児童が学習活動の見通しを持ちやすくなるよう配慮されている。 ○ 表面の撥水コーティングや、3か所の針金留め等を施すことで、長期の使用にも対応できるよう配慮されている。また、再生紙や植物インクの使用等、環境にも配慮されている。 						

種 目	書 写	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 6	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	書写 1 0 5 2 0 5 3 0 5 4 0 5 5 0 5 6 0 5	書 名	しょうがくしょしゃ 一ねん 小学しょしゃ 二年 小学書写 三年 小学書写 四年 小学書写 五年 小学書写 六年
			日 文				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の内容に示された目標に従い、「三つの柱」や2学年のまとめりごとの基礎的・基本的な学習内容を重視し、知識・技能を確実に習得させる系統的な指導が工夫されている。 ○ 古典や文学作品のよさ、日本語の美しさを味わわせたり、文字そのものへの興味・関心を高めさせたり、活字と手書きの違いに気付かせて手書きの意義を考えさせたりする工夫があり、伝統文化に触れ、国語を尊重する態度を養う配慮がされている。 ○ 低学年では「この教科書の使い方」、中学年以上では「書写学習の進め方」が掲載されており、学習の見通しを持たせたり、自発的な学習を促したりできるように工夫されている。 ○ 1年間の学習を生かして取り組む「学習を生かして」が当該学年のまとめりに設定されており、学習内容の定着と発展的な学習に配慮されている。 ○ 題材や資料については、出所や出典が明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3学年以上では、毛筆教材の学習後に硬筆教材が配置されている。毛筆の学習で習得した技能を硬筆に生かすといった、毛筆と硬筆の学習の一体化が図られている。 ○ 各学年の巻頭には、当該学年の目標が目次とともに明示されており、1年間の見通しを持って学習に取り組むことができるように工夫されている。 ○ 姿勢や用具の準備・持ち方について、写真を大きくしたりポイントを明示したりして、2学年のまとめりごとに知識・技能を習得することができるように配慮されている。 ○ 教材の内容・教材数、単元構成は、児童の発達の段階や語彙を考慮して精選され、無理のないように配慮されている。各学校の実態に応じた柔軟な年間計画が可能である。 ○ 「生活と書写」のコーナーの設定において、手紙・掲示物の書き方、原稿用紙の使い方等が取り上げられており、児童会活動や地域連携活動等の多くの活動に適合している。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「考える→確かめる→いかす」の3ステップで、段階を踏みながら、自己の気づきを生かして主体的に学習に取り組むことができるように工夫されている。 ○ 一教材一目標で学習のめあてと自己評価の項目が設定されており、児童自らが学習を振り返ることが容易になるとともに、学習の達成感を味わうことができるように工夫されている。 ○ 低学年には、硬筆の運筆する能力の向上やその習慣の定着を意図して、水書きシートを用いた学習を取り入れている。繰り返し活用できる水書きシートを教科書の巻末に付けてある。 ○ 「国語の広場」や「生活と書写」、「言葉の窓」のコーナーが設定されており、各教科等や日常生活との関連が図られている。 ○ HPアドレスが巻頭に掲載されており、学習に参考となる動画の情報提供がされている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章表現が平易で、簡潔である。各学年の巻末漢字表では、当該漢字について硬筆と毛筆の両方で掲載されており、どちらについても確認できるように配慮されている。 ○ キャラクターによる問い掛けの場面を設定し、そのキャラクターと対話しながら主体的に学習を進めることができるように工夫されている。 ○ 過度な配色を抑え、読みやすく、手本文字に着目させる配色や太さが工夫されている。 ○ 教科書の書き込み欄を手本文字の下に配置し、右利きと左利きの両方に配慮している。 ○ 教科書の表紙には、水や墨に汚れにくい表面加工が施されている。油インクと再生紙を使用し、児童や環境に優しい配慮がされている。 						

種 目	社会	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 東 書	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	社会 3 0 1 4 0 1 5 0 1 5 0 2 6 0 1 6 0 2	書 名	新しい社会3 新しい社会4 新しい社会5 上 新しい社会5 下 新しい社会6 政治・国際編 新しい社会6 歴史編
1 内容に 関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地域や我が国の国土の地理的環境及び歴史や伝統文化、社会の仕組みや働きを取り上げ、地域の様子や我が国の国土と歴史に対する理解を促し、愛情を育てる工夫がされている。 ○ 地域の公共施設や店舗、歴史博物館等での校外学習場面を取り上げ、地域の身近な事象の観察や調査、見学等の体験的な学習活動を通じた理解を図るように配慮されている。 ○ 話合いの場面や児童ノート、まとめの新聞等、実際の表現活動や表現作品の例を示し、児童が活動を見通して意欲を高め、学習に主体的に取り組みやすいように配慮されている。 ○ 防災等の安全教育、道徳教育、領土、国旗、主権者教育、伝統や文化、国際理解等の今日的な課題を精選して取り上げ、学習の充実と発展を図るように工夫されている。 ○ 内容や資料は最新のものであり、出所、出典が明示されている。学習題材として取り上げている地域の偏りは見られず、我が国全体の理解につながるように工夫されている。 						
2 組織と配列に 関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元の「めあて」や小単元の「学習問題」、本時の「めあて」を示すとともに、学習段階（つかむ、調べる、まとめる、いかす）を併記して問題解決的な学習を促す工夫がされている。 ○ 小単元のねらいが「学習問題」として、「つかむ」段階だけではなく、「まとめる」段階でも示され、ねらいを意識して児童が学習内容をまとめることができるように配慮されている。 ○ 「ひろげる」や特設教材を随所に設定し、児童が学習を通して身に付けた知識を広げたり、理解を深めたりすることができるように配慮されている。 ○ 選択単元の学習は、目次に明示されているなど、地域や学校の実態に合わせて年間指導計画に適合できるように配慮されている。 ○ 第4学年では、宮城県や仙台市、石巻市雄勝町、登米市登米町、松島町が、学習題材として取り上げられており、児童の生活や地域の実態に広く適合されるように配慮されている。 						
3 学習と指導に 関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小単元の「まとめる」段階では、文章でまとめたり話し合ったりするなどの言語活動の場面を例示し、身に付けた知識を生かして思考・判断・表現等ができるように配慮されている。 ○ 第6学年では、小単元の「まとめる」段階でパネルディスカッションによる話合いの例が示されるなど、主体的・対話的で深い学びが展開されるように配慮されている。 ○ 第3～5学年の巻末に、どのように学んだかを振り返ったり、別の学びの進め方に取り組んだりできるような内容を取り上げ、多様な学びの機会を設ける工夫がされている。 ○ 算数科「ぼうグラフの読み取り方」等の関連する他教科の学習内容を示すため、「教科関連マーク」が新設、明示され、児童の理解を支えるように工夫されている。 ○ 挿絵、図表、写真等は適切に配置されている。学習に関連したウェブページには、巻頭のURL等からアクセスできるようにされ、教科書の当該ページに「Dマーク」が示されている。 						
4 表現と体裁等に 関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の発達の段階に応じた文章表現になっているとともに、当該学年以上の配当漢字には振り仮名が付けられ、児童が理解しやすいように配慮されている。 ○ 児童が親しみを持って学習を進めることができるように、アニメキャラクター等に留意事項や学習の様子を語らせるなどの工夫がされている。 ○ 字体や文字の大きさを児童の発達の段階に応じて配慮したり、教科書体の文字と手書きに近い字体の文字を内容に合わせて使い分けたりするなどの工夫が見られる。 ○ 幅広い判型を生かし、図表を大きく掲載したり、複数の資料を比較・関連させて示したりするなどの工夫が見られる。レイアウトやバランスは適切である。 ○ 製本は体裁がよく堅ろうである。再生紙や化学物質を抑えた植物油インキを使用するなど、環境やアレルギーへの配慮もされている。 						

種 目	社会	発行者の番号・略称	17	教科書の記号・番号	社会 303 403 503 603	書 名	小学社会3 小学社会4 小学社会5 小学社会6
			教出				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「社会科の見方や考え方」を各学年の巻頭に掲載するとともに、社会的な見方・考え方を働かせた学習が促されるように資料の内容やその掲示の仕方が工夫されている。 ○ 「社会科の学習の進め方」を各学年の巻頭に掲載することで、学び方や調べ方の学習、問題解決的な学習が展開できるよう工夫されている。 ○ 発達の段階に応じた資料の提示に加え、児童の生活経験と結び付きの深い身近な事例を示しており、学習意欲を高めるよう工夫されている。 ○ 児童の興味・関心に応じて活用することのできる教材や資料、コーナーが適宜配置され、補充的・発展的な学習を図ることができるよう配慮されている。 ○ 対象を捉えやすいイラストや大きく鮮明な写真等が、資料の特性や目的に配慮しながら配置されており、出所、出典も明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3学年から第6学年までの全体を通して、公民としての資質・能力が培われるように配慮されている。さらに、生活科や中学校との接続を意識できるページが配置されている。 ○ 単位時間ごとに「この時間の問い」と「次につなげよう」を明示することで、小単元を通して一貫性のある問題解決的な学習が展開されるよう工夫されている。 ○ 各単元の末尾に「まとめる」、「ひろがる」コーナーを配置し、学習内容の整理と定着を確認したり、発展的な学習につなげたりできるよう工夫されている。 ○ 内容や分量は適切であり、地域や学校の実態に応じて選択できる教材も掲載されている。また、2学期制や3学期制の年間指導計画にも適合するよう工夫されている。 ○ 地域や学校の実態に応じて、実際に行うことのできる観察や見学、聞き取り等の体験学習や、それに基づく表現活動の例が、分かりやすく紹介されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習の展開を見通すモデル図や、調べ方、表現方法等の学習技能について解説した「学びのてびき」を掲載し、問題解決的な学習に見通しを持つことができるよう工夫されている。 ○ 児童同士の対話的な学習や、様々な人々から話を聞き取る対話的な学習を促す教材を多様に位置付けることで、多角的に理解したり考えを深めたりできるよう工夫されている。 ○ 地域や学校の実態、児童の興味・関心に応じて、補充的・発展的に活用することのできる教材や資料を掲載することで、児童の個性に対応できるよう配慮されている。 ○ 第3学年・第4学年の巻頭に「他の教科とのかかわり」を掲載することで、教科横断的に学ぶ社会科の特性を児童に意識付けるよう工夫されている。 ○ 挿絵や写真、図表等の資料や学習の手引きが効果的に配置されている。また、「まなびリンク」の情報が閲覧できるQRコード、URLが各学年の目次に掲載されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当該学年以上の配当漢字や固有名称、社会科用語等には振り仮名が付けられ、平易な文章表現や語句の解説をすることで、内容が読みやすくなるよう工夫されている。 ○ 同年代の児童のキャラクターが登場し、児童が親しみを持ちながら共感的に学習を進めることができるよう工夫されている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用したり、カラーユニバーサルデザインに基づいて配色したりすることで、全ての児童にとって見やすいものになるよう配慮されている。 ○ 単位時間ごとに見開きで構成され、本文と資料が明確に区分されている。また、レイアウトをパターン化することで、児童の視認性を高めるよう工夫されている。 ○ 製本は堅ろうで、装丁にも汚れにくい加工が施されている。また、再生紙を用いて植物油インキとグリーン電力を使用して印刷することで、環境に配慮されている。 						

種 目	社会	発行者の番号・略称	116	教科書の記号・番号	社会 304 404 504 604	書 名	小学社会 3年 小学社会 4年 小学社会 5年 小学社会 6年
			日文				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の社会科の目標、学年目標・内容・内容の取扱い等を踏まえて、児童の発達段階と興味・関心を考慮し、社会的事象を適切に教材化した単元構成となっている。 ○ 身近な事例やメディアの活用等、作業的・体験的な活動が児童の発達段階を踏まえて位置付けられ、主体的・対話的で深い学びの視点に配慮した内容になっている。 ○ 全学年にわたって、学習問題を追究・解決する活動の充実が図られ、児童の興味・関心を高め、学習意欲を喚起するよう配慮されている。 ○ 各学年の目標を達成できるよう、適切な事例や事象が取り上げられている。また、学習指導要領に例示されている事例が選択単元として網羅されている。 ○ 内容が一方的、断定的な見解に偏らず広く受容されているか吟味をした教材が掲載されている。また、資料の出所、出典が明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が自ら見付け出した問題を解決するために、調べ活動や話し合い活動等の具体的な学習活動を通して、思考・判断・表現等の過程が分かりやすく配列されている。 ○ 小單元ごとに目標に沿って問題解決的な学習過程が生まれ、学習内容についての情報や資料、追究過程が1時間1見開きページでコンパクトにまとめられている。 ○ 本文は「学習内容」、「学習活動」、「子供の発言」の3部で構成され、児童が学習の見通しを持てるよう工夫されている。また、発展的学習へのつながるコーナーも配置されている。 ○ 児童の主体的・対話的な学習活動が展開できるように内容の重点化が図られ、小單元ごとに十分な調べ活動や話し合い活動ができるよう、適切な時数が配当されている。 ○ 事例地や産業、人物を選んで学習を進めるような選択教材を多く設定し、地域や学校の実態に合わせて指導できるよう配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「見方・考え方コーナー」、「学び方・調べ方コーナー」が配置され、社会的な見方・考え方の育成や主体的な学習態度の育成が図れるよう配慮されている。 ○ 学習問題を共有する様子や交流活動の具体例、ノートの記事例を示し、新たな疑問や考えを見出す過程が可視化され、問題解決的な学習を追究・解決する活動の充実が図られている。 ○ 話し合い活動や調べ活動、表現活動や学習内容の整理の仕方を示すことで、児童の実態や個々の能力に広く対応できるよう工夫されている。 ○ 1学年を1冊の教科書で構成することにより、年間を通して地域の行事、特別活動、他教科との横断的な連携が図りやすくなるよう配慮されている。 ○ 資料は学年の系統性や児童の発達段階に応じた表現方法が取られている。ウェブページのアドレスは、巻頭のURLからアクセスできるようになっている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の発達段階を踏まえ、適切な用語・語句が使用されている。また、漢字は、当該学年以上の配当漢字等に振り仮名を付け、読みの抵抗を少なくするよう配慮されている。 ○ 各学年において、6名の男女児童のキャラクターを登場させ、児童とともに学習に取り組む構成により、主体的な学びを促す工夫がされている。 ○ 児童の発達段階を踏まえた活字の大きさが使用され、印刷も鮮明である。重要語句はゴシック体で表すなど、児童の興味・関心を高めるよう工夫されている。 ○ 図表等は、レイアウトやバランスが工夫され全体を通して見やすくなっている。導入ページでは、大きな写真やイラストが配置され、児童の興味・関心を高めるよう配慮されている。 ○ 製本は丈夫なあじろ綴じが採用され堅ろう、大きく開くようになっている。また、植物油インキが使用され、環境にも配慮されている。用紙の軽量化も図られている。 						

種 目	地 図	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 東書	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	地 図 301	書 名	新 し い 地 図 帳
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 地図や地球儀を効果的に活用させるとともに、我が国の歴史や伝統・文化に関する内容や、世界の諸地域への内容が深められるように配慮されている。 ○ 広い視野から国土を眺めることができる地図を複数配置するなど地図への理解が図られる内容になっている。また、外国語等、他教科や家庭での活用につながる工夫がされている。 ○ 初めて地図を使用する児童の発達の段階を踏まえ、地図の仕組みや約束事を分かりやすく解説するなど、国土に対する興味・関心や学習への意欲を高める工夫がされている。 ○ 社会的事象を、位置や空間的な広がりに着目して捉えられるように工夫され、地図から実際の様子を想像する力が身に付けられるような内容になっている。 ○ 統計資料は、出所、出典が明示されており、写真やイラスト等の資料は、特定の地域に偏ることなく配置されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本列島を見渡すような地図から始まり、日本の地方図と都市圏図、世界全図、世界の州ごとの地図、資料図、統計資料、索引等が系統的に配列されている。 ○ 目次にイラストを取り入れ、広域図や拡大図、日本や世界の地図、資料地図、統計表の分類がなされ、学習内容と地図帳との関連が分かりやすく示されている。 ○ 日本の領土と周辺諸国に関する内容が充実しているとともに、自然災害について多面的に考察し、要因や対策等を探る発展的な学習に対応できるように配慮されている。 ○ 歴史的遺物や理科に関する資料、食に関連した資料等が豊富に配置されるなど、各学校の年間指導計画に広く適合できるように工夫されている。 ○ 東北地方の地図と他地域との関連を比較できる配列になっている。また、「自然災害と防災」のページは、自分の住んでいる地域と災害との関係を考える学習の手掛かりになっている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基本的な地図の読み方や、地球儀の活用の仕方について写真で分かりやすく説明されている。また、索引の引き方や見方を示すことで、主体的な学習へも対応している。 ○ 冒頭の世界地図や日本地図でさまざまな事物が紹介され、児童の興味・関心を大切にしている。また、日本の歴史を学びながら同じ時代の世界の様子が捉えられる工夫がされている。 ○ 写真やイラストを豊富に配置し、児童がイメージを膨らませながら学習に取り組むことができるように工夫されている。また、国の位置と国旗を結び付けて調べる工夫が見られる。 ○ 国語や音楽、道徳等の学習に役立つ人物イラストや、記念館、東京及び京都・奈良の市街地図等を取り入れ、他教科や総合的な学習の時間等に活用できるように配慮されている。 ○ 地図帳の使い方、挿絵、図表、写真等は各所に適切に配置されている。また、Dマーク（デジタルコンテンツ）を掲載し、学習に役立つウェブページの活用も可能である。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第3学年以上の漢字に振り仮名を付け、読みの抵抗を少なくする配慮がされている。また、図や写真等の説明文はすべて文節改行にして読みやすくなるように配慮されている。 ○ 多彩なキャラクターが地図活用の手掛かりを児童の言葉で提示し、児童が親しみを持って意欲的に学習に取り組めるように配慮されている。 ○ ユニバーサルデザインフォントを使用し、読みやすく見やすい字体になっている。また、見やすく鮮明な彩色・色調が特徴で、目が疲れないように配慮されている。 ○ 色のみによる文字や図形の判別を避け、形を変えて区分されている。カラーユニバーサルデザインの推奨に取り組む団体の検証を受け、誰もが見やすいレイアウトになっている。 ○ 製本は体裁がよく堅ろうである。本文ページは光の反射を適度に抑えた再生紙が使用され、児童の書き込みが可能である。また、環境に配慮した植物油インキが使用されている。 						

種 目	地 図	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4 6 帝 国	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	地 図 3 0 2	書 名	楽しく学ぶ 小学生の 地図帳 3・4・5・6年
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 広い視野から国土を眺められる地図や地域、外国との関連を示した資料図が多数掲載されており、児童が主体的、多角的に学習問題を追求・解決することができる工夫がされている。 ○ 地図や地球儀の概念や基本的な使い方を詳細に解説しており、地図帳や地球儀、統計資料等を積極的に活用し、慣れ親しませることができるように工夫されている。 ○ 第3学年からの使用に対応するために、地図の仕組みや約束事示した導入のページが設定されており、初めての学習でも段階的に理解できるように工夫されている。 ○ 各都道府県の産業、交通網による結び付き、歴史的事象等に関する記号やイラストを豊富に付し、各学年で取り上げる事例の重点化や発展を図りやすくするための配慮が見られる。 ○ 地図や統計資料、写真・イラストは、出所、出典が明示されている。写真資料は、位置を番号で地図上に示す工夫や地域間の偏りがないように配慮されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本列島の地図から地方ごとの地図、世界地図へと内容が組織的、系統的に配列され、社会的事象の特色や相互の関連を効果的に学習できるように工夫されている。 ○ 地理的な位置や空間的な広がり、社会的事象と人々の相互の関連等の視点に基づいた地図や資料図が配置されており、教科の目標を踏まえた内容のまとまりに配慮が見られる。 ○ 地図や資料図に親しみのあるイラストや写真等を配置し、都道府県の産業や日本の歴史、外国の特色に関する基礎的・基本的な内容が確実に理解できるように工夫されている。 ○ 地図や資料図等が、日本と外国の地理的な位置や産業、相互の関連等と関連付けて配置されており、各学校の年間指導計画に広く適合できるように配慮されている。 ○ 大きな折り込みの東北地方の地図が掲載されており、宮城県と東北地方との産業や交通網等の関係が捉えやすい。裏側には首都圏の地図が掲載され、首都圏との比較もできる。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「地図のやくそく」や「地図の使い方」が巻頭に設定されており、地図記号、方位、縮尺、土地利用の読み方等、地図の活用技能の育成が効果的に図れるように工夫されている。 ○ 「日本をながめる地図」「くわしく見る地図」等、異なる縮尺の地図を複数配置し、日本や外国の特色を多面的、多角的に捉えながら思考活動が展開できるように工夫されている。 ○ 日本と世界との結び付きや日本の防災・減災への取組等が学習できる資料図が豊富に配置され、児童の興味・関心に幅広く対応できるように工夫されている。 ○ 日本の歴史や日本の自然災害等に加え、世界の挨拶や方位磁針の使用、距離の測定の仕方等が掲載されており、他分野や他教科等との関連に配慮した内容となっている。 ○ 図表や写真、挿絵等は適切に配置され見やすい。ページ左上に二次元コードが掲載されており、必要に応じて二次元コード内のコンテンツの活用が図れるように工夫されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 都道府県等の地名を正しく読めるように、全ての地名の漢字に振り仮名を付している。土地の高さや土地の使われ方を色分けし、立体的に表現することで捉えやすくしている。 ○ 児童が自学自習できる「地図マスターへの道」のページを設定し、日本の国土や外国の特色等に関する問題を解きながら、地図の活用に関心をもちながら学ぶように工夫されている。 ○ 活字はユニバーサルデザインフォントを採用し、大きくて見やすい。文字の配置も重ならないように工夫してある。色覚特性を考慮した配色にも工夫が見られる。 ○ 図表やグラフ、写真資料が鮮明に配置されている。また、二次元コードの使用で、学習問題のねらいに応じて拡大地図や統計資料を提示できるように工夫されている。 ○ 従来ものから判型が大きくなり、軽量化が図られ、製本は体裁がよく堅ろうである。耐久性に優れた再生紙や植物油インキを使用しており、環境に優しい工夫が施されている。 						

種 目	算 数	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	算 数		書 名	
			東書		1 0 1	1 0 2		
					2 0 1	2 0 2	あたらしいさんすう 1⑩ さんすうのとびら あたらしいさんすう 1⑩ さんすうだいすき! 新しい算数 2上 2下 考えるっておもしろい! 新しい算数 3上 3下 考えるっておもしろい! 新しい算数 4上 4下 考えると見方が広がる! 新しい算数 5上 5下 考えると見方が広がる! 新しい算数 6 数学へジャンプ!	
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学的活動を基にした問題解決を重視し、基礎的・基本的な概念や性質の理解、技能の習熟が行えるようにするとともに、思考力、判断力、表現力等を伸ばしていけるよう配慮されている。 ○ 「学びのとびら」「今日の深い学び」で問題解決型の学習の進め方や、主体的・対話的で深い学びの例を示すことにより、児童の主体的な取組を引き出せるよう工夫している。 ○ 日常生活の場面から問題を見いだしたり、「かたちであそぼう」のように、算数の楽しさを味わえるコーナーを設けたりするなど、児童の学習意欲を高める工夫がされている。 ○ 補充問題や発展的課題「おもしろ問題にチャレンジ」を充実させることにより、基礎・基本の定着を図るとともに、自主的に発展的課題に取り組めるよう工夫している。 ○ 内容に適した資料が適切に用いられ、出所、出典が明示されている。 							
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理解に時間を要する内容や、スパイラルに学習することが有効な内容については、単元を分けて段階的に取り扱うようにするなど、学習の効果が上がるように配慮されている。 ○ 学習内容が確実に分かるように内容のまとめごと小単元を設けてあるとともに、他領域の既習事項を活用しながら学習を進められるように工夫されている。 ○ 巻末に、学習内容の習熟を意図した「ほじゅうのもんだい」と、発展的な学習としての「おもしろ問題にチャレンジ」を設け、児童の学習状況に幅広く対応できるよう配慮されている。 ○ 各学年の理解が困難な単元を中心に、理解や習熟に必要なページ数と十分な時間数が確保できる配当時間数及び単元の配列になっている。 ○ 実生活に関連する問題により算数の有用性を実感させたり、理科に関連する内容の指導時期と合わせ、相互に理解を深められるようにしたりするなど、単元の配列が工夫されている。 							
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学的な見方・考え方を明示したり、友達の考えを読み取る場面を例示したりするなど、思考力、判断力、表現力等を高めていけるよう配慮されている。 ○ 主体的・対話的で深い学びを可視化した「今日の深い学び」コーナーを設けるとともに、日常の学習でも問題解決を重視し、学びを積み重ねられるよう工夫している。 ○ 「ほじゅうのもんだい」を設定し、個に応じた分量、難易度の問題に取り組めるよう工夫されている。 ○ 防災や国際理解等、今日的な課題から問題を設定したり、理科との関連を考慮して重さや折れ線グラフの学習を配置したりするなど、他教科等との関連に配慮している。 ○ 問題場面を把握する助けとなるように写真や挿絵を用いたり、Dマーク（デジタルコンテンツ）を掲載し学習に役立つウェブページの活用を促したりするなど、工夫されている。 							
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 算数用語や定義には、振り仮名を付け、誤解を生む表現、いろいろな意味にとれる曖昧な表現を避けるなどの配慮がなされている。 ○ 問題解決のための図や発問、キャラクターの吹き出し等を設け、児童が考える部分を残しつつも、丁寧な文脈で可視化ができるよう配慮されている。 ○ 字体には太字のUD教科書体を使用したり、絵図には中間色を基調にした鮮やかな色彩を表現したりして、視認性の高さに配慮されている。 ○ 実生活との関連を意識しやすい写真や、思考の手助けとなる絵図や挿絵を配置し、視覚的に内容を捉えやすいレイアウトになっている。 ○ 環境に優しい再生紙や化学物質をおさえた植物油インキが使用され、環境やシックスクールに配慮されている。また、表紙・裏表紙には汚れにくく丈夫な加工が施されている。 							

種 目	算 数	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4 大日本	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	算 数 1 0 3 2 0 3 3 0 3 4 0 3 5 0 3 6 0 3	書 名	たのしいさんすう1ねん たのしい算数2年 たのしい算数3年 たのしい算数4年 たのしい算数5年 たのしい算数6年
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学的な見方・考え方を巻末の「ひらめきアイテム」にまとめることで、獲得した見方・考え方を活用して問題解決したり、学習を統合・発展させたりできるように配慮されている。 ○ 児童が既習事項との関連や自他の考えを確認するため、単元末に「ふりかえろう」を設けたり、適用問題を充実させたりして、意欲的・主体的な学習ができるように工夫されている。 ○ 「おうちで算数」や「算数たまたまばこ」、「ふくろう先生になるほど算数教室」を設け、生活や社会に関連付けられるような題材を盛り込み、学習意欲を高めるように工夫されている。 ○ 問題をタイプごとに色分けしたり、巻末の「プラス・ワン」への関連を示したりして、習熟度に応じた学習の充実と発展ができるように工夫されている。 ○ 全国各地の写真や資料が使用されており、内容に偏りがなく、出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次で、既習事項と今後の学習との関連を表記することで、児童に見通しを持たせながら学習内容の定着が図られるよう配慮されている。 ○ 学習の目当てが分かる単元名になっているとともに、内容のまとめりごとに小単元が設けられ、学習する内容が分かりやすくなっている。 ○ 用語が確認できるように索引を設けたり、全学年のまとめを巻末に設けたりして、児童が基礎的・基本的な内容を理解できるように配慮されている。 ○ 内容の分量は必要かつ十分なものが取り上げられ、単元の関連性に配慮された配列となっている。学年1冊の合本で1年間の学習内容を見通せるように配慮されている。 ○ 児童の生活と関連の深い場面が取り上げられており、実生活に目を向けながら学習の理解を深めたり、広げたりすることができるように配慮されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決的な場面で考えを書き込む欄を設けたり、児童が学習の様子を振り返ることができるように観点を示したりすることで、思考力・表現力等が高まるように配慮されている。 ○ 「じっくり深く学び合おう」を活用して、多様な解決方法を比較検討する活動を行うことにより、深い学びが実現するように配慮されている。 ○ 単元末の「たしかめ問題」は、問題のタイプごとに色分けされ、「しっかりチェック」「チャレンジ」を設けることで、個に応じた指導が柔軟にできるように配慮されている。 ○ 防災・安全教育や他教科に関連した活動・題材や統計資料を取り上げ、関連していることをマークで明示し、各教科や総合的な学習の時間との関連が図れるように配慮されている。 ○ 挿絵や図表、写真等は、学習内容に合致したものが配置されている。また、学習コンテンツのウェブページのアドレスは、巻頭と巻末に表記されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発達の段階を考慮し、児童が読みやすく理解しやすいように、内容の区切りや改行に配慮されている。 ○ 全学年共通のキャラクターを採用し、考え方のポイントを吹き出しに示すことで、児童の興味・関心を高めるように工夫されている。 ○ 発達の段階を考慮した大きさの文字が使用され、新出の算数の用語は、書体を変え、振り仮名を付けるなど、児童が確認できるような配慮がされている。 ○ 図表への書き込みが必要な個所では、作業がしやすいよう、書き込みスペースをページの外側に配置し、余白の大きさも十分に確保されている。 ○ 製本は堅ろうで、環境に配慮した紙と植物油インキを使用し、環境やアレルギーに配慮されている。 						

種 目	算 数	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	算 数		書 名
			学 図		1 0 4	1 0 5	
					2 0 4	2 0 5	みんなと学ぶ しょうがっこうさんすう 1ねん上 1ねん下
					3 0 4	3 0 5	みんなと学ぶ 小学校 算数 2年上 2年下
					4 0 4	4 0 5	みんなと学ぶ 小学校 算数 3年上 3年下
					5 0 4	5 0 5	みんなと学ぶ 小学校 算数 4年上 4年下
					6 0 4	6 0 5	みんなと学ぶ 小学校 算数 5年上 5年下
							みんなと学ぶ 小学校 算数 6年
							みんなと学ぶ 小学校 算数 6年 中学校へのかけ橋
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の日常の場面から問題を設定するとともに、算数科の学習に必要な見方・考え方を明示することで、児童が数学的活動に主体的に取り組めるよう配慮されている。 ○ 前年度までに学習した内容の目次への記載や、分冊「中学校へのかけ橋」により、系統的・発展的な指導計画の作成・実施ができるよう工夫されている。 ○ 巻頭で身の回りのものから算数を見いだしたり、様々なデータに触れたりする場を設けるとともに、課題意識を高める「?を発見」を各単元の始まりに設け、算数への興味・関心を高めている。 ○ 巻末の「ほじゅう問題」で、学びの程度に応じて取り扱えるようにし、単元末の「深めよう」で発展的な問題にも取り組めるよう工夫されている。 ○ 写真、資料等を目的や学年に応じて使い分け、資料の出所、出典が明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次で既習事項との関連を示したり、上巻の巻頭ページで、前学年の学習内容を振り返らせたりするなど、系統的に学習が進められるよう配慮されている。 ○ 「考える」「調べる」という言葉を用いて、児童にも何が大事なのか伝わるよう単元名を表し、単元の中に小単元を設けて確実に学習が進められるよう配慮されている。 ○ 理解が難しい割合や活用を重視したい統計の学習では、基礎的な理解を重視した単元と活用を重視した単元に分割するなど、学習効果を上げるための工夫がされている。 ○ 内容の分量は発達の段階に応じており、内容も精選され、ゆとりを持って学習を進められるように配慮されている。 ○ 単元導入の問題は、児童にとって身近な生活場面から取り上げられているものが多く、興味を持って学習ができるよう工夫されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭で、思考力や主体的学びの具体的な在り方を示し、各ページにも学びの手掛かりを示すことで、数学的な考え方や主体的な学習態度が育まれるよう配慮されている。 ○ 話し合いを重視したページを設定したり、話し合いをイメージさせる挿絵を用いたりするなど、主体的・対話的で深い学びを実現するための工夫がされている。 ○ 図や表、式などを並べて示したり、多様な考え方を例示したりするなど、児童の多様な考えに対応できるよう配慮されている。 ○ 環境問題や国際理解に関する学習問題を設定したり、社会科や理科の学習と関連付けて学習ができるようにしたりするなど、単元の配列が工夫されている。 ○ AB版の広さを生かし、児童の関心を高める、児童の理解を助ける、といった目的に応じて挿絵や図表、写真、QRコード等が配置されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年に応じて分かりやすく表現するとともに、振り仮名を付けたり、重要語句は太字で示したりするなど、児童が理解しやすいよう工夫されている。 ○ 日常生活との関連を考慮した写真やイラストを使用したり、学習のポイントを示すキャラクターを活用したりするなど、児童が親しみや魅力を感じるよう配慮されている。 ○ 文字をはっきりと読める書体にするとともに、発達の段階に応じて文字の大きさを変えるなど、児童が読みやすいように配慮されている。 ○ 教科書をAB版にし、紙面の空白部分を増やすことで見やすくし、目にかかる負担が少なくなるよう配慮されている。 ○ 再生紙や植物油インキを使用するなど、環境やシックスクールに配慮されている。また、表紙は汚れや破損に強い仕様になっている。 						

種 目	算 数	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	算 数		書 名
			教出		1 0 6 2 0 6 3 0 6 4 0 6 5 0 6 6 0 6	2 0 7 3 0 7 4 0 7	
							しょうがくさんすう1 小学算数2上 2下 小学算数3上 3下 小学算数4上 4下 小学算数5 小学算数6
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の生活と関連の深い問題場面を設定したり、様々な数学的活動の進め方について示したりすることで、知識・技能の定着を図るとともに、思考力・表現力が高まるように配慮されている。 ○ 単元末に「学びのマップ」を設けたり、活用問題を充実させたりして、意欲的・主体的な学習ができるように工夫されている。 ○ 各単元のまとめに4コマ漫画を設け、単元や領域の重要な考え方を分かりやすく表現し、学習意欲が高まるよう工夫されている。 ○ 本文の練習問題や巻末に「自分で取り組むページ」を設けるなど、学習の充実と発展を図ることができるように工夫されている。 ○ 内容や資料に偏りがなく、出所、出典も明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次や巻末に既習との関連を表示し、児童が既習事項を活用しながら学習が進められるように配慮されている。 ○ 単元導入時には単元名を記載せず、児童に既習事項を基にして考えさせてから単元名を提示することで、学習のねらいが明確になるように工夫されている。 ○ 算数用語が確認できる索引や家庭学習にも用いることができる「ステップアップ算数」を設け、基礎的・基本的な内容の定着や発展的な学習に配慮されている。 ○ 内容の分量は必要かつ十分なものが取り上げられ、基礎的・基本的の内容と選択的な内容を分けて無理なく習得することができるように工夫されている。 ○ 児童の生活と関連の深い場面や地域の歴史や文化に関わる場面を取り上げ、実生活に目を向けながら学習できるよう配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 1時間の授業のノート例を示すなどノートに書く活動を重視し、数学的な思考力・表現力を高められるよう工夫されている。 ○ 問題発見・解決の過程を「はてな?」「なるほど!」「だったら!?’という展開で示し、児童が主体的・対話的で深い学びができるように配慮されている。 ○ 巻末に設けられた「ステップアップ算数」は、児童の習熟度に応じた支援を考慮し、振り返りの問題量が調節できるように構成されている。 ○ 防災教育、環境、福祉、国際社会等の今日的な課題を取り上げ、他教科や総合的な学習の時間との関連を図ることができるように配慮されている。 ○ 児童が自ら学習の振り返りができるように、多くの挿絵や図表、写真、並びにウェブページのアドレス等が配置されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年に応じた平易で簡潔な文章表現で、読みやすいように改行にも配慮されている。索引を設けることで、新出の算数用語を確認しやすいように工夫している。 ○ 単元の導入では、身近な題材から算数の問題を発見し、目的意識を持って学べるよう工夫されている。 ○ 発達の段階に応じて文字の大きさを変えている。また、色調や書体においても、支援を要する児童に対して配慮されている。 ○ 写真や図表、イラスト、吹き出し等の配置は、児童の発達の段階を踏まえ、内容の理解に資するものになるように工夫されている。 ○ 製本は堅ろうで、環境やアレルギーに配慮し、再生紙と植物油インキを使用している。紙は軽量で児童の身体の発達に配慮し、第2学年から第4学年は分冊にしている。 						

種 目	算 数	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	6 1	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	算 数		書 名	
			啓林館		1 0 8 2 0 8 2 0 9 3 0 8 3 0 9 4 0 8 4 0 9 5 0 8 6 0 8	わくわく さんすう1 わくわく 算数2上 2下 わくわく 算数3上 3下 わくわく 算数4上 4下 わくわく 算数5 わくわく 算数6		
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が学習する必修内容の「本編」と、個に応じて取り組める選択内容の「学びのサポート」との2部構成になっており、一人一人の主體的な学びに対応できる内容になっている。 ○ 学習習慣が確立できるように、自学自習ができる教材を巻末の「学びのサポート」に掲載しており、学校と家庭の両方で、児童の主體的な取組を引き出すよう工夫されている。 ○ 「未来へのつばさ」「どんな計算になるのかな」等が設定され、日常生活への算数の活用を通して、算数の有用性を実感できるように配慮されている。 ○ 巻末の「学びのサポート」では、既習事項を確認できる「じゅんび」、習熟度別学習に対応した「もっと練習」、説明の仕方や作図の仕方が示された「算数資料集」が設けられ、習熟の程度に応じた学習の充実と発展が図れるよう工夫されている。 ○ 内容に適した資料が用いられ、図表や写真、挿絵の最新の出所、出典が明示されている。 							
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次で単元の内容に関連する既習事項を表示したり、類似内容を複数の単元に配置し習熟の時間を確保できるようにしたりすることで、学習の効果が上がるように配慮されている。 ○ 単元の日当てだけでなく、各時間には学習の「めあて」と「まとめ」が記載してあり、児童が見通しを持ったり振り返ったりしながら学習が進められるよう配慮されている。 ○ 過去に出題された全国学力・学習状況調査問題の分析から、定着しにくい問題や活用問題を多く取り上げるなどして、つまずきやすい内容が確実に身に付くよう配慮されている。 ○ 3学期制はもとより、2学期制、モジュール型学習などの柔軟なカリキュラムにも対応できるよう配当時間数や単元の配列、分量が配慮されている。 ○ 学年の始めに楽しく学習できる内容を取り上げたり、屋外での活動や水を使う教材を暖かい時期に設定したりするなど、教材配列が工夫されている。 							
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 思考の手助けとなる図、表、式等を多く例示し、それらを活用して根拠や手順を説明する活動を系統的に位置付けることにより、思考力や表現力が身に付くよう配慮されている。 ○ 各単元の導入や思考を深める単元では、日常の事象や既習事項から問題を見いだす場面が設定されており、問題解決のプロセスを通して思考が深まっていくように構成されている。 ○ 課題発見につながる児童の考えや気付きを「学びのめばえ」として明示し、児童の能力に応じて活用できるよう工夫されている。 ○ キャリア教育、環境保全、食育、国際協力、防災等に関連した教材が取り上げられ、各教科や総合的な学習の時間との関連に配慮されている。 ○ 紙面にQRコードを掲載し、ICT機器を使った学習のサポートができる動画や補充問題等が準備されている。 							
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 新出の算数用語や定義に振り仮名を付けたり、意味が捉えにくい表現、いろいろな意味にとれる表現を避けたりして分かりやすい表現にしている。 ○ 児童が生き生きと活動している臨場感のある写真が使用され、児童が興味・関心を高めながら、数学的活動がイメージしやすいように配慮されている。 ○ 児童の発達の段階を考慮し、太字の書体を使用したり、文章の改行位置を意味の区切りにしたりするなど、見やすさや読みやすさに配慮している。 ○ 問題の理解や解決の手助けとなるように、挿絵や絵図を問題や目当ての周囲に配置したり、書き込みに利用できる余白を確保したりして、視覚的に内容を捉えられる構成にしている。 ○ 環境に優しい再生紙や化学物質を抑えた植物油インキが使用され、環境問題やアレルギー問題に配慮されている。 							

種 目	算 数	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	116	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	算 数		書 名	
			日 文		110	111		しょうがくさんすう1ねん上 1ねん下 小学算数 2年上 2年下 小学算数 3年上 3年下 小学算数 4年上 4年下 小学算数 5年上 5年下 小学算数 6年
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 数学的な見方・考え方を働かせながら主体的な学習を促すとともに、側注の「カギマーク」、巻末の「しっかりチェック」に取り組むことで知識及び技能の定着と、思考力の向上が図られるように配慮されている。 ○ 「次の学習のために」や「たしかめポイント」の練習問題では、基礎的・基本的な内容の定着が図られるように工夫されている。 ○ 「Hello! Math」や「つなげる算数」を設け、学習したことを生活の場面に生かし、算数の楽しさや意義を実感できるように工夫されている。 ○ 習熟の程度に応じた学習ができるように、巻末の「算数マイトライ」を設け、応用的・発展的な問題にも取り組めるように工夫されている。 ○ 学習内容に適した資料が用いられ、出所、出典が明示されている。 							
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 目次で既習との関連を示したり、巻頭に既習事項を確認するページを設けたりして学習の効果が上がるように配慮されている。 ○ 新単元に入る前に、これから学習する内容の既習事項を確認する「次の学習のために」を設け、単元のねらいが明確になるように工夫されている。 ○ 単元末に児童が間違いやすい問題を設けたり、第6学年には中学校への接続を意図したコーナーを設けたりして、学習内容の定着と発展的な学習に配慮されている。 ○ 各学年とも年間10～18時間程度の予備時間を設け、全体的にゆとりを持たせ、各学校の年間指導計画に適合できるように配慮されている。 ○ 学習内容の習熟のために反復練習が必要な単元をできるだけ早い時期に学習できるようにするなど、教材の配列が配慮されている。 							
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 式や図を関連させて考えを読み取って伝え合う学習が設けられており、児童が主体的に学習に取り組むことができるように配慮されている。 ○ 教室での学習場面を模した紙面構成をし、側注には何に着目して考えていけばよいのか書かれており、主体的・対話的で深い学びができるように工夫されている。 ○ 巻末の「算数マイトライ」は、児童の実態に応じた取り扱いができるような問題で構成されており、多様な個性や能力に対応できるように工夫されている。 ○ 道徳や伝統・文化、防災教育等の視点から資料を取り上げ、各教科や総合的な学習の時間との関連を図ることができるように配慮されている。 ○ 作業や体験等の活動を促す場面では、内容をイメージしやすいように実際の写真が用いられている。また、調べ学習において、インターネットを利用し、学んだことをさらに深化させていくように促している。 							
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 誤解や曖昧な理解を与えないように、解説や説明は簡素な文章表現にし、イラストや図等によって児童が理解できるように配慮されている。 ○ 季節感や児童の日常生活との関連を考慮した素材や場面を取り入れ、興味・関心を高めるように工夫されている。 ○ 児童の発達の段階に応じた文字の大きさが工夫されている。新出の算数用語は書体を変えており、児童が確認しやすくなるように配慮されている。 ○ イラストや写真等は、児童が親しみの持てるものにしていく。また、資料となる図表等は大きさやバランスが工夫されている。 ○ 表紙や本文には再生紙が用いられており、植物性インキを使用するなど環境やアレルギーへの影響に配慮されている。 							

種 目	理 科	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	理 科	3 0 1 4 0 1 5 0 1 6 0 1	書 名	新 し い 理 科 3 新 し い 理 科 4 新 し い 理 科 5 新 し い 理 科 6
			東書					
1 内 容 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主体的な学習活動が展開される構成になっており、理科の見方・考え方を働かせながら問題解決に必要な資質・能力が育成されるように工夫されている。 ○ 直接体験を基にした導入や、観察、実験が重視されているとともに、児童が興味・関心を持って問題解決を展開できるように工夫されている。 ○ 単元の導入では、自然の事物・現象との関わりやこれまでの経験を想起させる資料を提示し、児童の思いを大切にしながら学習への意欲が高められるように工夫されている。 ○ 単元末に「学びを生かして深めよう」を設定し、学んだことを生かして日常生活の事象について考えることができるように工夫されている。 ○ 児童の様々な視点からの気づきなどを促す多様な資料が採用されており、その出所や出典が明示されている。 							
2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 既習事項の想起を促す資料を提示したり、「学びをつなごう」で他の学年や単元で学習したこととの関連を示したりするなど、学習の効果を高める配慮がなされている。 ○ 巻頭で各学年の学習内容を4つの区分で示し、内容構成を捉えやすくしている。また、各章の学習のねらいを示し、意識しながら学習を進められるように配慮されている。 ○ 「たしかめよう」や「考えよう」では基礎的・基本的な知識及び技能の定着を図るとともに、「学びを生かして深めよう」では発展的に考える活動が展開されるように配慮されている。 ○ 各学年ともに、観察、実験の内容が工夫されており、単元や1単位時間における学習にゆとりを持って取り組むことができるよう配慮されている。 ○ 地域や学校の実態を踏まえ、季節に関連の深い内容は適した時期に配列されているとともに、実験器具の使用時期が学年で重複しないように配慮されている。 							
3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決の過程に沿った構成で、「理科のミカタ」で理科の見方・考え方を働かせながら、知識及び技能の定着を図れるように配慮されている。 ○ 日常生活とのつながりや既習事項の振り返り等で主体性を高めるとともに、対話の場面例を示し、理科の見方・考え方を働かせながら学習できるように配慮されている。 ○ 観察、栽培の方法を複数例示したり、「理科のひろば」で学習内容と関連する発展的な事項を取り上げたりするなど、児童の多様な個性や能力に対応できるように配慮されている。 ○ 「学んだことを使おう」や巻末の「資料」で、算数科で学んだことの活用例や、他教科での既習事項との関連を図りながら学習を進められるように配慮されている。 ○ 巻頭や巻末には、観察、実験の方法だけでなく、ノートのとめ方や話合いの進め方を示したり、ウェブページの活用を促したりするよう工夫されている。 							
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元等の導入ページでは、全ての漢字に振り仮名を付いたり、文章を文節で改行して読みやすくしたりするなど、表記、表現が学年に応じている。 ○ 問題意識を高めるための漫画や、理科の見方・考え方の変容を自覚できるように学習の前後に同じ問いが配置され、児童が理科の学習に親しみや魅力を感じるよう配慮されている。 ○ A4版の大きな紙面で、書体、配色ともにユニバーサルデザインが採用されており、活字の大きさや字体が適切で、イラストや写真も大きく、色彩、印刷が鮮明である。 ○ 導入ではダイナミックな写真や図表等が採用され、考察場面では、対話の具体例を会話形式で配置するなど、深い学びにつながるように紙面がレイアウトされている。 ○ 製本は体裁がよく、軽量の紙を用いるとともに金属を使わずに堅ろうに仕立てられており、リサイクル再生紙や植物油インキを使用するなど、環境への配慮がある。 							

種 目	理 科	発行者の番号・略称	4	教科書の記号・番号	理科 302 402 502 602	書 名	たのしい理科3年 たのしい理科4年 たのしい理科5年 たのしい理科6年
			大日本				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理科の見方・考え方を働かせた観察、実験の充実を図る構成になっており、問題解決に必要な資質・能力が育成されるように工夫されている。 ○ 児童が自然の事物・現象から問題を見いだすとともに、直接体験を重視した問題解決が開されるように工夫されている。 ○ 意欲的に取り組めるような観察、実験を取り上げたり、問題意識を継続させるために課題の再設定をしたりするなど、興味・関心を持って学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 身に付けた知識及び技能の活用や、次の学年の学習内容に触れる事柄が取り上げられ、学習の充実と発展が図られるように工夫されている。 ○ 問題解決の過程に沿った資料が偏りなく掲載されており、その出所、出典が明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 導入に既習事項を想起させる内容を提示しているとともに、単元の学習の発展的な内容を「サイエンスワールド」で紹介し、学習の効果が上がるよう配慮されている。 ○ 巻頭に、各学年で身に付けさせたい問題解決の力が示され、各単元では、「見つけよう」「調べよう」など、学習過程に沿った共通の項目で内容がまとめられている。 ○ 「確かめよう」や「チャレンジ問題」などで、基礎的・基本的な知識及び技能を確実に習得させ、それを活用して課題を解決させることができるよう配慮されている。 ○ 観察、実験の方法が精選され、ゆとりを持って指導を進めることができる。また、各学校の年間指導計画にも柔軟に適合することができるよう配慮されている。 ○ 飼育・栽培を行う動植物を複数取り上げており、地域や学校の実態に応じて実践できるよう配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 巻頭で「理科の学び方」が示され、見通しを持って問題解決に取り組めるように工夫されている。 ○ 例示された会話をヒントに自分の考えを持ったり、児童同士の対話の例から問題解決の見通しを持ったりと、理科の見方・考え方を働かせながら学習できるように配慮されている。 ○ 問題解決に向けた観察、実験の方法が複数掲載されており、児童の多様な個性や能力に幅広く対応できるようになっている。 ○ 他の教科や他の学年で学習したことやE S D、防災教育などに関連する項目にマークが付けられており、他教科や総合的な学習の時間との関連に配慮されている。 ○ 巻頭や巻末には、実験器具の使い方やノートの書き方について示すとともに、関連情報をウェブページで検索したりするなどの調べ学習に向けた資料も掲載されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きページごとに配当学年以上の漢字には振り仮名を付けたり、文章を文節で改行して読みやすくしたりするなど、表記、表現が学年に応じている。 ○ 導入でのダイナミックな写真の掲載や、シール、図鑑、すごろくゲーム等の付録を充実させることで、児童が理科の学習に親しみや魅力を感じるよう配慮されている。 ○ A B版の大きな紙面で、書体、配色ともにユニバーサルデザインが採用されており、活字の大きさや字体が適切で、イラストや写真も大きく、色彩、印刷が鮮明である。 ○ 導入では大きな写真や図表等が採用され、考察場面では対話の具体例を会話形式で配置するなど、深い学びにつながるように紙面がレイアウトされている。 ○ 製本は体裁がよく、軽量の紙を用いるとともに、表紙にPP貼り加工を施して堅ろうに仕立てられており、環境に配慮した紙や植物油インキを使用するなど、環境への配慮がある。 						

種 目	理 科	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	理 科 3 0 3 4 0 3 5 0 3 6 0 3	書 名	みんなと学ぶ 小学校理科 3年 みんなと学ぶ 小学校理科 4年 みんなと学ぶ 小学校理科 5年 みんなと学ぶ 小学校理科 6年
			学 図				
1 内 容 に 関 す る 点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元冒頭では、その単元で身に付けさせたい資質・能力を示したり、その単元で働かせる理科の見方・考え方が明示されていたりするなど、工夫されている。 ○ 児童が自然の事物・現象に対して直接体験を通して関わり、見る、触れる、作る、試す、探すなど感覚に基づいた活動を積極的に取り入れるなど、意欲を高める工夫がされている。 ○ 単元の導入では、単元に関わる身近な生活場面や科学的なエピソードを取り上げることで、児童が疑問を持ち、問題解決に取り組もうとする意欲を高める工夫がされている。 ○ 単元末の「できるようになった」では振り返りの場面を設定し、「やってみよう」では発展的な学習を紹介するなど、学習の充実と発展が図られるように工夫されている。 ○ 身に付けさせたい資質・能力を育成するための学習内容が各学年の発達段階に応じて配置され、掲載している資料の出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る 点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年間の系統性を意識し、既習事項を振り返りながら話合いの根拠とすることができるように学習内容が配列されているなど、学習効果が高まるような工夫がされている。 ○ 理科の目標を踏まえて学習のねらいが達成されるように、単元の冒頭で小単元の流れを示す写真を掲載するなど、内容のまとまりについて配慮されている。 ○ 実験結果を考察した「わかったこと」を示したり、生活の場面とのつながりを「資料」で取り上げたりするなど、学習の定着と発展的な学習への配慮がされている。 ○ 各学年配當時数が、学習の深まりや発展、ものづくりなど多様な学習を取り上げながら、標準時数内で実施できるように配慮がなされ、各学校の実態に合わせて適合できる。 ○ 地域の実情に応じて観察ができるように、他の学年とのつながりを考慮した栽培計画が掲載されていたり、単元の組み替えができるような工夫がされたりしている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る 点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決の中で、他者との対話を通して考える場面や、自己の考えを再構成する場面を位置付けるなど、思考力・判断力・表現力等を高める配慮がなされている。 ○ 児童自らが実験器具を製作し、対話を通して観察・実験したことを基に、「活用」で学びを生かす場面が設定されており、主体的・対話的で深い学びへの工夫がされている。 ○ 巻頭に詩を掲載したり、単元での学びに関連した地域の偉人や職業との関連を示したりするなど、他教科や日常生活との関連を図りながら学習を進められるように工夫されている。 ○ 他教科で同時期に学習する内容を詳しく説明する内容を掲載したり、環境や暮らしの場면을提示したりするなど、他教科や総合的な学習等との関連に配慮されている。 ○ 自然の事物・現象の変化に着目したイラストや写真を掲載したり、学習に関連した内容をウェブページのアドレスで検索できるように示したりするなどの工夫がされている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る 点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な児童の特性に配慮して、短い文と写真を対応させて視覚的に理解しやすいようにしたり、作業を細かく分けて記載したりするなど、表記、表現が学年に応じている。 ○ 単元の振り返り場面で効果的にもものづくりを扱うことで、学んだ知識を生かす場面が設定され、児童が理科の学習に対して親しみや魅力を感じるように配慮されている。 ○ 書体、配色ともにユニバーサルデザインが用いられており、活字の大きさや字体が適切で、文字・写真・図版ともに色彩、印刷が鮮明である。 ○ 導入では大きな写真や図表等が採用され、実験や考察の場面では、操作手順や思考の流れを矢印で視覚的に導くなど、紙面のレイアウトやバランスが工夫されている。 ○ 製本は体裁がよく、軽量の紙を用いるとともに、金属を使わずに堅ろうに仕立てられており、環境に配慮した紙や植物油インキを使用するなど、環境への配慮がある。 						

種 目	理 科	発行者の番号・略称	17	教科書の記号・番号	理科 304 404 504 604	書 名	みらいをひらく 小学校理科 3 未来をひらく 小学校理科 4 未来をひらく 小学校理科 5 未来をひらく 小学校理科 6
			教出				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理科及び各学年の目標達成に向けて、理科の見方・考え方を働かせることができるように、観点を示したり、学年に応じた問題解決の力を系統的に構成したりするなど工夫されている。 ○ 児童一人一人が、主体的に観察、実験に取り組めるように、イラストや写真で手順が示されており、見通しを持って問題解決ができるように工夫されている。 ○ 児童にとって身近な自然の事物・現象を取り上げることで学習意欲を高めるとともに、児童の疑問や気付きから問題解決が進められるように工夫されている。 ○ 指導内容が精選されており、各単元末の「学びを広げよう」では学んだことを使って説明する活動を取り入れるなど、学習の充実と発展を図ることができるように工夫されている。 ○ 児童が観察、実験の方法、結果の確認をしやすい写真やイラストが用いられており、掲載している資料の出所、出典が明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 他学年の学習内容が「〇年で学んだこと」として巻頭に明記されており、既習内容を振り返りながら系統的に学習できるように工夫がされている。 ○ 理科の目標を踏まえて、各単元のねらいが達成できるように小単元が配置されており、理科の見方・考え方を働かせることができるように内容がまとめられている。 ○ 1年間で習得した知識が巻末に明記してあったり、学んだことを活用できるように単元ごとに「学びを広げよう」を設けたりするなど、学習効果が上がるように配慮されている。 ○ 観察、実験の方法が精選され、各学年とも配当時間がゆとりを持って計画されており、内容の分量や年間配当時間に余裕を持たせるなど、工夫されている。 ○ 各学年で理科室や器具・機器の使用が重ならないように配列されているとともに、地域による動植物の成長の違いや気象条件に配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の気付きを基に問題を見いだしたり、観察、実験後に丁寧に考察する場面を位置付けたりすることで、思考力・判断力・表現力等が育成できるように配慮されている。 ○ 単元ごとに児童が対話を通して問題を見だし解決する姿を示し、「学びを広げよう」で生活との関連を示すなど、主体的・対話的で深い学びの実現に向けて工夫されている。 ○ 児童の気付きを基にした問題発見から、児童の疑問や気付きから問題解決へ向かうような構成にすることで、児童の多様な個性や能力に広く対応できるように工夫されている。 ○ 「思いだそう」「科学のまど」「資料」では、生活や環境との関わりが示されるなど、他教科や総合的な学習の時間との関連に配慮されている。 ○ 児童が観察、実験の方法、結果の確認をしやすい写真を用いているとともに、関連情報をウェブページで検索できるように工夫されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の導入ページでは単元初出の漢字に振り仮名を付けたり、文章を文節で改行して読みやすくしたりするなど、表記、表現が学年に応じている。 ○ 児童や教師のキャラクターを登場させ、主人公が主体的に問題を解決していく姿を表現することで、児童が理科の学習に親しみや魅力を感じるように配慮されている。 ○ A4変形版の大きな紙面で、書体、配色ともにユニバーサルデザインが採用されており、活字の大きさや字体が適切で、イラストや写真も大きく、色彩、印刷が鮮明である。 ○ 導入では大きな写真や図表等が採用され、考察場面では児童の対話の様子をイラストで配置するなど、児童が学びを進めやすいように、レイアウトやバランスが工夫されている。 ○ 製本は体裁がよく、軽量の紙を用いるとともに金属を使わずに堅ろうに仕立てられており、環境負荷の少ない再生紙や植物油インキを使用するなど、環境への配慮がある。 						

種 目	理 科	発行者の番号・略称	26	教科書の記号・番号	理科 305 405 505 605	書 名	楽しい理科 3年 楽しい理科 4年 楽しい理科 5年 楽しい理科 6年
			信教				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な事物・現象を生かした素材を教材化し、児童が興味・関心を持って主体的に追究しながら、理科の見方・考え方を働かせながら問題解決できるように内容が工夫されている。 ○ 単元の導入に、観察、実験などの直接体験を位置付け、体験を通して得られた気付きや疑問を基に、授業が展開できるように工夫されている。 ○ 巻頭に全学年共通の「理科の学習の進め方」や、学年に応じて「観察カードの書き方」「学習の準備」などを大きな写真や図表を掲載し、児童の学習意欲を高める工夫がされている。 ○ 観察、実験の手順や方法を、文や写真・絵図などで具体的に示し、児童が主体的に学習を展開できるよう工夫されている。 ○ 複数の動植物の写真を構成するなど、内容や資料に偏りがなく、出所、出典が明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 季節の特徴や植物の生育状況、学校行事の時期などを考慮した単元配列になっており、適した時期に観察や実験、飼育、栽培ができるよう配慮されている。 ○ どの単元もねらいに迫るために、自然の事物・現象との出会わせ方、調べる内容、方法が吟味され、学習過程に沿った共通のマークで学習のまとまりが示されている。 ○ 児童のノート例を示し、基礎的・基本的な内容を捉えやすくする一方で、発展の学習内容を端的に示し、児童が興味・関心に応じて学習に取り組めるよう工夫されている。 ○ 巻頭の「1年間の学習」に、学習内容と時期が明記されるとともに、内容の分量や区分も計画的に配置され、見通しを持って指導できるよう配慮されている。 ○ 適した時期に観察、実験ができるように順序性が確保され、各学校の実態に合わせて単元を組み替えられるよう配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 予想を集約して立てた「問題」をタイトルとして示し、「観察」「実験」「調査」のマークを掲載することで、検証すべき方法やまとめが明確になるよう配慮されている。 ○ 単元の中に、自分の予想の妥当性や検証の方法を明らかにするための話合いの場面を設け、主体的に理科の見方・考え方を働かせながら問題解決できるよう配慮されている。 ○ 単元の展開時に、別の方法で事物・現象を調べさせたり、考察を深めさせたりして、多様な方法で追究できるようにするなど、児童の個性や能力に対応できるように配慮されている。 ○ 「生命・地球」「物質・エネルギー」の領域において、「環境教育」「防災教育」との関わりを意識した単元構成を配置し、他教科や総合的な学習の時間等との関連に配慮している。 ○ 問題解決の各過程において、児童が主体的に学習を進められるよう、図表や写真等が配置されている。また、巻頭のURLからウェブページにアクセスできるようになっている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各単元の導入ページでは難読漢字に振り仮名を付けたり、児童のノートを想定したまとめ方の例を随所に掲載したりするなど、表記、表現が学年に応じている。 ○ 手書きのイラストや文字を図表として用いることで、児童が自らの学習の進め方の参考にでき、児童が理科の学習に親しみや魅力を感じるよう配慮されている。 ○ AB版の紙面に写真等を大きく掲載し、見出しやイラストの配色をカラーユニバーサルデザインにし配慮するなど、色彩、印刷が鮮明である。 ○ 導入場面では大きな写真や図表等を掲載するとともに、児童が書く学習カードの例を適切な大きさと掲載するなど、図表の大きさや配置が工夫されている。 ○ 製本は体裁がよく、軽量の紙を用いるとともに金属を使わずに堅ろうに仕立てられており、環境に配慮した再生紙や植物油インキを使用するなど、環境への配慮がある。 						

種 目	理 科	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	6 1	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	理 科	3 0 6 4 0 6 5 0 6 6 0 6	書 名	わくわく理科 3 わくわく理科 4 わくわく理科 5 わくわく理科 6
			啓林館					
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教科書全体を通して、自然の事物・現象の不思議さに触れたり、感じたりしながら、児童が見通しを持って、観察、実験できるように配慮されている。 ○ 単元導入に、既習事項や日常生活を振り返る「思い出してみよう」を設定し、児童が十分な直接体験を想起しながら、学習を進められる展開になっている。 ○ やってみたいと思える単元の導入や児童の生き生きとした表情の写真を掲載し、児童の興味・関心が高まるように工夫されている。 ○ 観察、実験が精選されるとともに、単元末の「まとめノート」「たしかめよう」「活用しよう」で学習の充実と発展が図られるように工夫されている。 ○ 栽培教材については、地域性を考慮し、複数の教材を掲載するなど、内容や資料に偏りがないよう配慮されている。 							
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が学年内・学年間の既習事項を生かしながら学習できるよう、「思い出してみよう」「理科の広場」を掲載するなど、単元の系統性を意識した構成と配列になっている。 ○ 単元導入での「はじめに考えてみよう?」と同じ問い掛けを、単元末に「もう一度考えよう」として再度考えさせるなど、各単元のねらいが明確に示されている。 ○ 「発展」マークで、発展部分と本文を区別し、児童の興味・関心に応じて単元の学習を深めたり広げたりできる内容を「活用しよう」「つなげよう」で扱えるよう配慮されている。 ○ 年間の標準時数で十分に指導できるように、余裕を持って構成され、学習内容の難易・領域・分野ができるだけ均等になるよう配慮されている。 ○ 教材の配列は系統性や順序性を確保した上で、全国的な動植物の生育状況や気象条件を考慮し、無理なく実施できるように配慮されている。 							
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「見つける」「調べる」「振り返る」と、学習の流れが視覚的に捉えやすく、単元導入から単元末まで、主体的に学習が進められよう配慮されている。 ○ 児童が主体的に考え、話し合っって問題を見いだす過程や、結果を基に考察する様子を具体的に示し、新たな問題に気付かせながら深い学びへ向かう力を育めるよう工夫されている。 ○ 単元導入で学習前の考えを児童に問い掛け、児童一人一人の考えを大切に学習が進められようとし、単元末には振り返る場を設定して、自己の成長を実感できるよう工夫されている。 ○ 「つなげよう」と表示して複数の単元で学習したことを関連付けさせたり、「他教科マーク」と表示して理科で学習したことを、他教科で活用、応用させたりできるよう配慮されている。 ○ 挿絵や図表、写真を用いて観察、実験の手順を丁寧に示し、「器具の使い方」については、動画でより分かりやすく解説できるようウェブページのアドレスが明記されている。 							
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 見開きページごとに配当学年以上の漢字には振り仮名を付けたり、まとめ等の文章を文節で改行して読みやすくなるようにしたりするなど、表記、表現が学年に応じている。 ○ 導入でのダイナミックな写真の掲載や、屋外でも使える観察シートなどを付録とすることで、児童が理科の学習に親しみや魅力を感じるように配慮されている。 ○ AB版の大きな紙面で、書体、配色ともにユニバーサルデザインが採用されており、活字の大きさや字体が適切で、イラストや写真も大きく、色彩、印刷が鮮明である。 ○ 導入では大きな写真や図表等が採用され、観察、実験の操作を写真やイラストで丁寧に示すなど、児童が学びを進めやすいように、レイアウトやバランスが工夫されている。 ○ 製本は体裁がよく、軽量の紙を用いるとともに金属を使わずに堅ろうに仕立てられており、白さや発色を改良した再生紙と植物油インキを使用するなど、環境への配慮がある。 							

種 目	生活	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 東 書	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	生活 101 102	書 名	どきどき わくわく あたらしいせいかつ 上 あしたへジャンプ 新しい 生活 下
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が対象と関わり合う時間を十分に確保できるよう、身近で取り組みやすい学習活動や学習材が重点的に取り上げられている。 ○ 幼児期の教育に近い環境や活動例を例示した「がっこうの いちにち」が設けられており、入学期の児童が安心して学校生活を送ることができるよう配慮されている。 ○ 学校や学級、児童の状況に応じて、発展的、選択的に活用できる「やってみよう」が随所に設けられ、児童の学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 活動を振り返り、気づきを多様な方法で表現する活動が、児童の発達の段階や特性に応じ、上巻、下巻で適切に配置されている。 ○ 児童が身近な人々や社会、自然を自分との関わりで捉えられるよう、身近な人々や社会、自然と子供たちが関わる姿が、写真や挿絵で随所に表現されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が四季の変化を意識しながら活動できるよう季節の流れを中心に時系列に単元が配列・構成されている。また、単元が上巻、下巻を通して系統的に配列されている。 ○ 指導計画の作成や評価に活用できるよう、学習指導要領に示されている資質や能力が具体的なイラストや吹き出し、写真等で表現されている。 ○ 学習を通して身に付けるべき習慣や技能、学び方が巻末の「かつどうべんりてちょう」にまとめてあり、活動に応じて活用できるようになっている。 ○ 活動内容のまとめりごとに単元が設定されており、学校や児童の実態、地域の特色に応じて単元を組み替えられるようになっている。 ○ 児童の生活や地域の実態に応じて活動を工夫、発展できるように「やってみよう」「つなげるひろがる」コーナーに活動例が多数掲載されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3つの資質・能力が登場人物の吹き出しや表現作品として例示されており、それを基に発問や支援をすることで、児童の主体的な学習へと導くことができるよう配慮されている。 ○ 具体物を使った振り返り活動や、対話を通して深い学びを実現する「学びをふかめる」コーナーを設け、児童の主体的・対話的で深い学びにつながるような工夫がされている。 ○ 単元ごとに振り返りや伝え合う活動が例示されており、児童の気づきを多様な方法で表現する学習活動が展開されるように工夫されている。 ○ 他教科で身に付けた資質や能力を生かす場面の例示や、理科や社会の見方や考え方につながるような挿絵があり、他教科や中学年以降の学習への接続が配慮されている。 ○ 活動の内容を示した「小単元名」と活動のめあてを表した「本文」が定位置に配置されており、児童が学習の見通しを持って活動に取り組めるよう配慮されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の発達の段階や国語科の指導に配慮し、上巻のはじめは平仮名、夏休み以降から片仮名も使用されている。下巻では全てルビを付け、どの児童も読めるような表記になっている。 ○ 大きな判型を生かしたダイナミックな写真が取り入れられ、児童の思いや願いを膨らませることができるように工夫されている。 ○ 正しい字形を保ちながら読みやすさに配慮した、ユニバーサルデザインフォントが使用されている。写真やイラストも全てカラー印刷であり、色彩、印刷ともに鮮明である。 ○ 大判の紙面を有効に利用し、ダイナミックな写真が使用されている。また、イラストや学習カード等の大きさやレイアウト、バランスも工夫されている。 ○ 開きやすく堅ろうな「あじろ綴じ」で製本されている。また、環境と健康面に考慮した再生紙、植物油インキ、リサイクル時に除去しやすいのりを使用している。 						

種 目	生活	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4 大日本	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	生活 103 104	書 名	たのしいせいかつ 上 なかよし たのしいせいかつ 下 はっけん
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元と単元のつなぎでは、活動後の振り返りから、児童の思いや願いをもとに次の活動へとつながる流れを意識して学習できるよう工夫されている。 ○ 生活科の活動や体験が他教科の学習へ広がりが発展すると同時に、他教科領域の学習成果が生活科の活動に生きるよう相互の関連について十分配慮されている。 ○ 児童の発達の段階に応じた写真やイラストが効果的に示されており、児童が興味・関心を高め、思いや願いを持って意欲的に活動に取り組むことができるよう配慮されている。 ○ 体験活動と表現活動が繰り返される構成にすることで、気付きの質を高める活動の流れになるよう工夫されている。 ○ 児童の登場回数が男女平等になるようにしたり、幼児・高齢者・外国人・障害のある人等、多様な人々と関わる例を取り上げたりするなど配慮されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元が季節に合わせて時系列に構成されているため、季節の変化や児童の実生活と活動を結び付けながら学習が進められるように工夫されている。 ○ 活動内容が見開きごとに分かりやすく示されており、児童が活動内容をつかみ、見通しを持って学習していけるように配慮されている。 ○ 上巻、下巻を通して同様の学習材を扱う際は、上巻から下巻に活動が展開・発展していくように取り上げ方を工夫している。 ○ 2学期制、3学期制に対応できるように活動単元を学校の年間指導計画に合わせて組み替えられるように配慮されている。 ○ 地域や学校の実態に応じて活動が選択できるよう、各単元や巻末の「がくしゅうどうぐばこ」で多様な活動を示している。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童に考えさせるための投げ掛けや、意欲を喚起するような写真やイラストが示されており、児童が主体的に学習が進められるよう配慮されている。 ○ 単元ごとに交流する場が設定され、気付きを共有し、次の活動へとつなげるような学習の流れとなっており、体験と表現活動を繰り返しながら気付きの質が高まる工夫がされている。 ○ 表現活動での多様な例示や、「きらきらことば」や「せいかつことば」コーナーにおいて様々な発言例を示し、児童がそれを活用しながら表現できるよう配慮されている。 ○ 他教科と関連ある活動は、関連教科が分かるマークで示し、教科横断的な活動を意識したカリキュラム編成となっている。 ○ 児童の目線に立った躍動感ある写真が効果的に配置されており、児童の関心や意欲をかき立てる工夫がされている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全ての漢字にはルビが付けてある。片仮名は1年の夏休み以降の学習を想定したページまではルビを付け、読み取りに差し支えないよう配慮している。 ○ 児童の思いや願い、つぶやきを生かした平易で親しみのある表現を取り入れるとともに、活動を見通すキーワードになるよう配慮している。 ○ 文字は教科書体を使用し、大きさ、分量についても十分に配慮して読みやすくしている。印刷は全ページカラー刷りで、写真やイラストは鮮明で見やすい。 ○ 児童の興味・関心を高める写真やイラストをダイナミックかつ豊富に掲載するために横幅が大きいA B版にしている。紙面の自由度が考慮されており、余白や書き込める箇所も多い。 ○ 製本は児童にとって安全な「あじろ綴じ」で、奥までよく開くことができる。紙は環境に配慮したものを使用し、インクは植物油インキを使用している。 						

種 目	生 活	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 学 図	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	生 活 1 0 5 1 0 6	書 名	みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 上 みんなとまなぶ しょうがっこう せいかつ 下
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の身近な人々や社会及び自然といった対象と繰り返し関わり、気付きを深めていけるように配慮されているとともに自分自身との関わりで考えられるよう工夫されている。 ○ 表現活動を中心に他教科との関連が図られ、相互の学習効果が高められており、他教科での学びをカード等に生かせるような工夫がされている。 ○ 児童の発達段階に配慮した学習カードの記録例が示されている。簡単な言葉による記述から、次第に気付きや思い、願いを書き込めるように配慮されている。 ○ 単元末では、振り返りの場面の充実が図られており、多様な表現をもとに、これまで学んだことや自分の成長に気付けるよう配慮されている。 ○ 臨場感あふれる写真で児童の活動意欲を引き出すように配慮されている。また、児童が親しみやすい挿絵で活動内容や流れが分かりやすく表現されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「探検単元」「遊び単元」「栽培単元」「飼育単元」「成長単元」の5つの大単元で構成されている。長期的に継続した活動を通して活動が深まるよう配慮されている。 ○ 上巻、下巻ともに5つの大単元で構成されており、各テーマに沿った活動が連続して示されているので、具体的な活動を通して「何を」「どのように」学習するのかが分かりやすい。 ○ 教師が主となって指導する部分と、児童が自ら気付き深めていく活動を分けて記載しており、基礎的・基本的な内容を押さえた上で活動を深めていけるようになっている。 ○ 学習内容が精選して示されており、学校や児童の実態に応じてゆとりを持った活動が展開できるように配慮されている。 ○ 活動ごとの大単元で構成されており、児童の生活や地域の実態に合わせて学習時期を組み合わせたり、軽重を付けて指導したりすることができる。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 大単元ごとに学習テーマが示され、課題を解決していくという流れで構成されており、児童自身が見通しを持って取り組むことができるよう配慮されている。 ○ 写真とそれをもとにしたリード文やキャラクターの吹き出しから、児童が意欲的に取り組んだり、振り返ったりすることができるよう工夫されている。 ○ 巻末の「まなびかたずかん」や単元末の振り返り活動で、児童が自ら様々な表現方法で伝えたいことをまとめられるよう工夫されている。 ○ 他教科で学んだことを生かしたカードが例示され、また、表現活動でも他教科との関連が図られている。 ○ 「ものしりノート」や「ちゃれんじずかん」が設けられ、児童が主体的に活動を発展させられるように工夫されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上巻は夏休み以降の部分から1年の配当漢字、片仮名を使用し、下巻では2年の配当漢字全てにルビを付けるなど、児童の負担にならないよう配慮されている。 ○ 児童の生き生きとした表情や対象物を大きく写した臨場感あふれる写真で児童の活動意欲を引き出すとともに、活動の流れが分かるよう配慮されている。 ○ 白色度の高い用紙に鮮明で見やすく印刷されている。また、ユニバーサルデザインに配慮して色味が抑えられ、記号やマークを少なくしたシンプルな画面構成になっている。 ○ 本文が見開き単位で構成されており、本文の見出しやカードの位置を揃えることで、分かりやすい表現になっている。 ○ 製本は、堅ろうさを保ちながら開きやすく、見開きの部分が見やすく作られている。表紙は厚い用紙が使われ、汚れや濡れに強いコーティングがされている。 						

種 目	生活	発行者の番号・略称	17 教出	教科書の記号・番号	生活 107 108	書 名	せいかつ上 みんな なかよし せいかつ下 なかよし ひろがれ
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な人々、社会及び自然と繰り返し関わる体験活動が十分に設定されており、それぞれの持つ特徴やよさに気付き、表現することができる内容や構成になっている。 ○ 気付いたことや考えたこと、楽しかったことなどについて、他者と伝え合ったり、振り返ったりする活動が繰り返し例示され、気付きの質が高められるように配慮されている。 ○ 各単元において、情緒的側面や認知的側面での発達の段階を考慮した学習活動が設定されており、児童の主体的な活動が促されるよう工夫されている。 ○ 「はってん」で理科、社会科とのつながりが明示され、また、3年生の学習を見学する活動が設定されているなど、接続に配慮された構成である。 ○ 上巻、下巻を通して車椅子の児童や外国人児童が、クラスの中で一緒に活動している写真やイラストを掲載するなど、多様な人々との関わりを例示している。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の発達の段階に応じ、学校から地域、自然体験から自然の持つ力について深く考える活動へと行動や気付きが広がっていくような単元が配列・構成されている。 ○ 児童の意識の流れや学習意欲に沿って単元が配列されている。また、学習のねらいや見通しが「小単元名」「活動の観点」「サイコロのアイコン」で分かりやすく明確に示されている。 ○ 各単元に「なにをかんじたかな」「つたえよう」コーナーが設けてあり、振り返りや友達に伝え合う活動を通して学習の定着や深まりが促されるような工夫がされている。 ○ ゆとりを持って活動できるよう時数が適切に設定されている。また、各教科で学んだことを生かせるよう合科的・関連的な活動例を巻末の「学びのポケット」に掲載している。 ○ 様々な地域のくらしの様子や自然との関わり方が取り上げられており、児童の実態や地域の特色を生かした学習活動が工夫できるように配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小単元ごとに活動の観点を示し、児童が写真やイラストを参考にしながら主体的に学習活動が進められるよう配慮されている。 ○ 各単元の「なにをかんじたかな」のコーナーで、学習内容に適した振り返り活動を例示し、学習対象を自分との関わりで捉えた見方・考え方が身に付くよう工夫されている。 ○ 考えたことを目に見える形で分類したりまとめたりする学習活動を例示し、児童の多様な個性や能力に広く対応できる内容となっている。 ○ 「学びのポケット」で生活科と他教科の相互に学んだ力を生かしたり、「社会科へのまど」「理科へのまど」で、中学年以降の学びにつないだりできるよう工夫がされている。 ○ 各ページに、「発揮すると効果的な力」を「サイコロのアイコン」で表記し、学習のめあてがはっきりとつかめるよう工夫されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上巻は夏休み以降より第1学年配当漢字（ルビ付き）と片仮名、下巻では第2学年配当漢字（ルビ付き）で表記されている。 ○ 学習活動を例示したイラストや写真は、児童の関心や意欲を促すような躍動感ある表現となっている。図解や動植物のイラストは、正確で分かりやすい。 ○ 全ての児童にとって読みやすいユニバーサルデザインフォントが使用され、写真やイラストは全てカラー印刷となっており、色彩、印刷ともに鮮明である。 ○ 低学年児童が読み取りやすいように、AB版を採用している。紙面を生かしたイラストや写真等の大きさやレイアウト、バランスも工夫されている。 ○ 表紙は汚れにくい加工が施されており、堅ろうな造本である。資源保護、リサイクルの立場から、再生紙や植物インキが使用されている。 						

種 目	発行者の番号・略称	26	教科書の記号・番号	生活 109 110	書 名	せいかつ 上 あおぞら せいかつ 下 そよかぜ
		信教				
1 内容に 関すること						
2 組織と配列に 関すること						
3 学習と指導に 関すること						
4 表現と体裁等に 関すること						

種 目	生 活	発行者の番号・略称	38 光村	教科書の記号・番号	生活 111 112	書 名	せいかつ 上 まいにち あたらしい せいかつ 下 だいすき みつけた
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 考えるための「ヒント」を例示し、児童が試行錯誤したり繰り返したりしながら、自ら考え、学びが深まるように内容が工夫されている。 ○ 巻末の「ジャンプ大しゅうごう」のページに振り返りシールをまとめて貼り直すことで、児童自身が気付きの質の高まりを実感でき、達成感につながるよう工夫している。 ○ 言語や文章は低学年児童の発達の段階を考慮した表現となっており、理解しやすく活動意欲が持てるように配慮されている。 ○ 下巻に地域に関わる単元やおもちゃ作り単元、成長単元等を設け、生活科の学びを社会科や理科、総合的な学習の時間等、中学年以降の学習につなげていけるよう工夫している。 ○ 題材の選択や扱いは児童の学習に支障がないよう、特定の事項・事象・分野に偏ることなく調和を図っている。男女比率のバランスも適性、役割の固定がないよう配慮されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 単元が季節に沿って構成されており、目次を見て年間を見通した学習計画を立てることができるよう配慮されている。 ○ 単元の導入の段階で学習過程を確認し、主体的かつ意欲的に学習を進められるような構成になっている。また、巻末に1年間の学習全体が振り返られるようなコーナーがある。 ○ 単元の内容が「ホップ」「ステップ」「ジャンプ」の3段階に分かれており、学習のねらいや流れを明確にし、段階的に学びを深めていけるように構成されている。 ○ 単元が活動のまとまりごとに構成されているため児童の実態に応じて指導の順序を柔軟に入れ替えることができ、2学期制、3学期制のいずれにも対応できるようになっている。 ○ 多様な学習活動や学習材が取り上げられており、児童の生活や地域の実態に応じた指導ができるように配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 写真やイラストで活動の具体的な進め方やヒントが例示してあり、児童が主体的に対象に関わりながら学習を進められるよう配慮されている。 ○ 単元ごとに、気付きの質が高まるプロセスをイラストや発言例で示し、児童が対象に主体的に関わり、気付いたことを深めたり日常生活に生かしたりできるよう工夫されている。 ○ 活動を振り返る「ジャンプ」では、様々な角度から捉えた発言が例示されており、児童の多様な個性や能力に広く対応できるよう配慮されている。 ○ 登場人物の吹き出しで、他教科と関連する活動のヒントが示されており、合科的・関連的な指導ができるよう配慮されている。 ○ 見開きで写真が示され、活動の流れや内容が分かるだけでなく、児童の興味・関心を喚起できるよう工夫されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の発達の段階を考慮した平易な表記・表現で構成されている。イラストはシンプルで優しい色遣いで描かれており、児童が親しみやすさを感じられるよう配慮されている。 ○ 写真やイラストが効果的に配置されており、児童の「自分もやってみたい」という興味・関心を喚起させるような内容になっている。 ○ イラストは色覚の多様性に対して配慮がなされた配色になっている。また、文字が小さい箇所には、読みやすさを強調して作られたユニバーサルデザイン書体が使用されている。 ○ 複数の写真やイラストを組み合わせる構成したページでは、それぞれの境界に線を付けるなど、見分けやすくする工夫がされている。 ○ 表紙はラミネート加工が施され、製本は堅ろうである。また、印刷は鮮明で見やすく、環境に負担の少ない植物インキが用いられている。 						

種 目	生活	発行者の番号・略称	61	教科書の記号・番号	生活 113 114	書 名	わくわく せいかつ上 いきいき せいかつ下
			啓林館				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動を通して身近な人々、社会及び自然と繰り返し関わっていくことができるようになっており、児童が試行錯誤しながら学びを深めていけるように工夫されている。 ○ 入学当初の緊張感のある児童が遊びを通して身近な人々、社会及び自然と関わることで、児童の人間関係が豊かに広がるように配慮されている。 ○ 身近な学校から地域へと広がるよう考慮されているとともに、学習指導要領の9つの内容が児童の発達の段階を考慮して配置され、学習意欲を高めるような工夫がされている。 ○ 生活科の学びのプロセスを考慮し、単元導入、主な活動、振り返りの3段階で構成され、低学年の学びの基礎や探究的な学びが身に付くよう構成されている。 ○ 興味・関心を喚起するダイナミックな写真と、児童の活動の助けとなる資料としての写真が活動のねらいに応じて配置されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の発達の段階に考慮し、上巻は主として学校、下巻は地域を活動の場としている。また、季節に沿って単元が配列され、児童の活動が広がり、深まるような構成になっている。 ○ 単元名で学習の概要が分かるようになっている。また、各単元とも生活科の学びのプロセスを考慮して内容がまとめられている。 ○ 各単元を通して児童が「ひと・もの・こと」と繰り返し関わっていけるようになっており、年間の活動を通して内容が深まっていくように配慮されている。 ○ 実態に応じて重点的で弾力的な活動ができるよう、巻末資料「がくしゅうずかん」で多様な活動が紹介されている。また、単元が2学期制にも対応できるように配慮されている。 ○ 児童の生活や地域の実態に合わせた活動が展開できるよう、活動例や学習対象が多様に示されている。また、季節遊びも地域の気候に応じて自由に選択できるようになっている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ どの単元も3段階で構成され、児童の興味・関心を高め、前の取組を生かしながら学習活動が展開されるよう配慮されている。 ○ 児童の活動の中で生まれた気付きや、次の活動への思いや願いを「めぐり言葉」で示し、児童の主体的な活動へと導く工夫がされている。 ○ 単元末の「ぐんぐん」で、言葉、絵、身体表現、ICT活用など、様々な表現方法や伝え合い方法を示し、児童の個性や能力に広く対応できるよう配慮されている。 ○ 上巻の巻頭に「スタートブック」、下巻の巻末に「ステップアップ」が掲載され、次の学年へ円滑に接続できるよう配慮されている。 ○ 巻末の「がくしゅうずかん」に豊富な資料が掲載されており、児童の興味・関心に対応するとともに、個に応じた指導が行えるよう工夫されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上巻の前半は平仮名のみ、上巻の後半の単元からは、片仮名と第1学年担当漢字がルビ付きで使用されている。下巻は第2学年担当漢字までがルビ付きで使用されている。 ○ 本文を補う活動への示唆や児童のつぶやき、疑問の声等が吹き出しで示されており、児童が親しみや魅力を感じられるように配慮されている。 ○ 基本的な文字のフォントは、ユニバーサルデザインフォントを採用しており、写真、イラストは全てカラー印刷で、色彩、印刷ともに鮮明である。 ○ 低学年児童にふさわしい文字情報量と動きのある写真やイラストで構成され、バランスよくレイアウトされている。 ○ 製本は「あじろ綴じ」で強力な接着止めがなされており、堅ろうな作りになっている。また、環境に配慮した再生紙、植物油インキが使用されている。 						

種 目	生活	発行者の番号・略称	116 日文	教科書の記号・番号	生活 115 116	書名	わたしとせいかつ 上 みんな なかよし わたしとせいかつ 下 ふれあい だいすき
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 身近な人々や社会、自然と自分との関わりを捉え、児童が相手意識、目的意識を持って表現できるような構成になっている。 ○ 「町探検単元」「夏休み単元」「成長単元」等は、学校や学区の実態に応じて展開できるよう特に弾力的な活動が可能になる構成となっている。 ○ 低学年の児童でも活用できるような思考ツールや発想法を取り入れ、友達とともに活動したり話し合ったりすることで学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 生活科から3年生以降の学習への接続を考慮し、情報・環境・国際理解・福祉・健康・食育等の課題に結びつく内容が取り上げられている。 ○ 季節ごとのフィールドワークや公共物や公共施設等、地域に関わる活動が偏りなく取り上げられているとともに、出所や出典が明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 上巻の「いちねんせいになったら」や年間を通したフィールドワーク、下巻の「2年生がはじまるよ」や2部構成になっている町探検等、段階的に学びが進む内容構成になっている。 ○ 小単元ごとに学習の目標が分かりやすい言葉で明示してある。各単元は「課題設定→活動→振り返り」という構成になっており、学習の見通しが立てやすいよう工夫されている。 ○ 学習技能の習得や学習内容の理解につながるような資料が豊富に掲載されている。また、情報や環境、福祉、食育等、3年生以降の学習へ結びつくような内容も取り上げられている。 ○ 各単元で多様な活動が示されており、学校の実態に応じて柔軟な計画が作成できるよう配慮されているとともに、各教科との関連を図って学習効果が高められるようになっている。 ○ 地域とのつながりや学習材と継続的に関わっていく活動が丁寧に扱われており、児童が「ひと・もの・こと」と直接的に関わる活動を通して学んでいけるような内容になっている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 様々な写真、イラスト等が、巻末の「考えるための技法」と関連付けられており、児童が基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、主体的に学習を進められるよう配慮されている。 ○ 導入や振り返りの活動の充実に向けて、多様な表現方法を例示したり、話合いの場面を具体的に示したりと、主体的・対話的で深い学びが展開されるように工夫されている。 ○ 振り返りの場面では、様々な表現手段や個別の気づきを共有する板書が例示され、児童の多様な個性や能力に広く対応できるよう工夫されている。 ○ 学年ごとに「スタートカリキュラム」に当たる単元が設定され、合科的・関連的な学習活動ができるよう配慮されている。 ○ 授業の様子が分かる「実践写真」が豊富に掲載され、児童の興味・関心の喚起や、学習の見通しが持てる構成になっている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の気づきを促す説明や児童の創意工夫を引き出す言葉が随所に示されており、低学年の児童にも取り組みやすいものとなっている。 ○ 学習を多面的にアシストする「生活科たんけんたい」と称したキャラクターが使用されており、児童が学びを深める際の助けとなるようなキーワードが吹き出しで示されている。 ○ 活字の大きさは児童の発達の段階を考慮しており、写真が鮮明で児童が「やってみたい」という意欲が持てるような構成となっている。 ○ 単元ごとにイメージカラーとアイコンが設定され、児童が「どの単元」の「どのページ」を開いているのかが、分かりやすいような構成になっている。 ○ 堅ろう性が高く、ページが広く開きやすい「あじろ綴り」で製本されている。また、表紙の表面加工は化学物質に敏感な児童に配慮されたものになっている。 						

種 目	音 楽	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	音楽 1 0 1 2 0 1 3 0 1 4 0 1 5 0 1 6 0 1	書 名	小学音楽 おんがくのおくりもの 1 小学音楽 音楽のおくりもの 2 小学音楽 音楽のおくりもの 3 小学音楽 音楽のおくりもの 4 小学音楽 音楽のおくりもの 5 小学音楽 音楽のおくりもの 6
			教出				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材が系統性と発展性を持って組織されており、題材の目標を軸に適切な教材曲で構成されている。 ○ 児童の生活や経験と結び付いた多様な教材曲を用いており、教科学習をきっかけにして豊かな情操を育むことができるように工夫されている。 ○ 児童の心身の発達の段階を考慮した身体表現活動を取り入れ、学習意欲を高めるように工夫されている。 ○ 幼・小・中の学びのつながりを意識した内容になっており、学習の充実と発展を図ることができるように工夫されている。 ○ 国や地域、時代、ジャンルを考慮した楽曲や工夫して音楽づくりができる教材、共通教材が組み込まれている。また、作詞・作曲・編曲者や演奏に関わる内容が明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表現と鑑賞の活動を関連させながら、繰り返し継続して学び、音楽の学習における資質・能力を高められるように配置が工夫されている。 ○ 教科の目標と関連付けて題材のねらいが明示されている。また、表現や鑑賞の活動が各学年の目標を踏まえた内容となるようにまとめられている。 ○ 「スキルアップ」や「音楽のもと」のページを設け、知識・技能の定着を図るとともに発展的な学習ができるように配慮がなされている。 ○ 児童の発達の段階に応じて学びが深まるよう多くの教材曲が組み込まれており、各校の実態に応じて年間指導計画を作成できるようになっている。 ○ 「音楽ランド」や「きせつのうた」として多くの曲を掲載するとともに、各地の郷土芸能を紹介するなど、児童の生活や各地域の実態を考慮した教材の配列が工夫されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の巻末に「楽器図鑑」を載せたり、各紙面の定位置に共通事項を示したりして、基礎的・基本的な知識・技能を習得できるような配慮がなされている。 ○ 「学び合う音楽」「学びのプロセス」などのコーナーを設けることで、児童が見通しを持って、主体的・対話的に学びを深めることができるように工夫されている。 ○ 多様な個性や能力に対応した様々なジャンルの曲を教材として取り上げるとともに、表現方法を選択できるような工夫されている。 ○ 震災後の音楽活動の様子や演奏家のメッセージを取り上げるなど、他教科や道徳、総合的な学習の時間等と関連して学ぶことができるように配慮されている。 ○ 歌詞の内容に合わせた写真を折り込みで大きく提示するなどの工夫がなされている。ウェブページにつながるマークやQRコードが示されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習内容や活動の説明に発達の段階に合わせた分かりやすい表現が使われており、音楽用語等も正しく表記されている。 ○ 児童が我が国や諸外国の音楽活動に親しみや魅力を感じることができるような写真がレイアウトされている。 ○ 児童の発達の段階に合わせた大きさのユニバーサルデザインフォントを使用するとともに、鮮明で見やすい楽譜が掲載されている。 ○ 児童の学習活動に合わせた分かりやすい配置やレイアウトがなされており、楽譜に書き込むための余白も十分確保されている。 ○ 冊子の開きがよく、折り込み部分には十分な厚さの紙が使用されている。再生紙と植物油インキを使用し、環境に配慮されている。 						

種 目	音 楽	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2.7 教 芸	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	音 楽 1 0 2 2 0 2 3 0 2 4 0 2 5 0 2 6 0 2	書 名	小学生のおんがく 1 小学生の音楽 2 小学生の音楽 3 小学生の音楽 4 小学生の音楽 5 小学生の音楽 6
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の意欲を喚起するとともに、6年間を通して学習を積み重ねられるように内容の工夫がなされている。 ○ 多様な教材曲を用いて伝統や文化と音楽との関わりを示し、教科学習をきっかけにして豊かな情操を育むことができるように工夫されている。 ○ 身体表現活動の充実を図り、発達の段階に応じた難易度の楽曲配置や広く知られている愛唱歌の教材化等、児童の学習意欲を高める工夫がなされている。 ○ 巻頭ページ掲載の「学びの地図」で1年間の学習内容を示し、学習の充実と発展を図れるように工夫されている。 ○ 国や地域、時代、ジャンルを考慮した楽曲や工夫して音楽づくりができる教材、共通教材が組み込まれている。また、作詞者・作曲者・編曲者や演奏に関わる内容が明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽の学習における資質・能力が高まるように表現や鑑賞を関連付けて配列するなどの配慮がなされている。 ○ 題材のねらいや学習内容を明示するとともに、表現や鑑賞の活動が教科や各学年の目標を踏まえた内容となるようにまとめられている。 ○ 「ふり返り」のページを設け、児童が必要に応じて既習事項を活用したり、演奏家からのアドバイスを掲載し、発展的な学習ができるようにしたりする工夫がなされている。 ○ 指導時数を考慮した教材配列や題材のまとまりとなっており、各校の実態に応じた年間指導計画を作成できるようになっている。 ○ 身のまわりの音や音楽にまつわる内容のコラムを設けたり、郷土芸能の紹介をしたりするなど、児童の生活や各地域の実態を考慮した教材の配列が工夫されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 音楽を形づくっている要素や演奏技法の具体的な図解資料等が示されており、児童が主体的に音楽活動に取り組めるように配慮されている。 ○ キャラクターによる吹き出しが学習活動の方法やヒント、参考資料となるように工夫されており、児童が主体的・対話的に学びを深める手立てとなっている。 ○ 多様な個性や能力に対応した様々なリズムあそびや音あそび、音楽づくりを教材として取り上げるとともに、楽器や演奏形態を選択できるように工夫されている。 ○ 復興に関わるコラムやオリンピックに関する音楽を掲載し、各教科や総合的な学習の時間等と関連して学ぶことができるように工夫されている。 ○ 巻頭に「学びの地図」が掲載され、1年間の学習の手引きとして活用できるように工夫されている。また、QRコードも適宜に提示されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動の説明や問いの提示、挿絵や写真のバランス等、児童の発達の段階に応じた表現がなされており、音楽用語も正しく表記されている。 ○ ねらいや内容に即した写真やインタビュー資料が配置され、児童が親しみや魅力を感じることができるように配慮されている。 ○ 文字の大きさや字体の他、囲みの色や形、記号などが工夫され、分かりやすく見やすいデザインになっている。 ○ 児童の学習活動に合わせた配置やレイアウトがなされており、音符が大きく見やすい楽譜が掲載されている。 ○ 冊子の開きがよく、使用頻度に応じた紙の厚さになっている。再生紙や植物性インキを使用しており、環境に配慮されている。 						

種 目	図画工作	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	9 開隆堂	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	図工 1 0 1 1 0 2 3 0 1 3 0 2 5 0 1 5 0 2	書 名	ずがこうさく1・2上 わくわくするね ずがこうさく1・2下 みつけたよ 図画工作3・4上 できたらいいな 図画工作3・4下 力を合わせて 図画工作5・6上 心をひらいて 図画工作5・6下 つながる思い
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の活動や製作の過程が写真で表されており、見通しを持ってつくったり表したりできるような工夫がなされている。 ○ 鑑賞活動や振り返りの活動では、話し合う観点が表示されており、言語活動の充実が図られているとともに児童の多様な個性や感性が高められるように配慮されている。 ○ 「学びの資料」で鑑賞や話し合いの仕方、更に発展的な活動を示し、発達の段階や実態に応じて学習意欲が高められる工夫がなされている。 ○ 1年間の学習の領域と題材名が写真で示されており、見通しを持って準備や活動に当たることができるように配慮されている。 ○ 題材の活動と作品例を偏りなく精選し、掲載されている美術作品については、作者や作品名等が明記されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材同士の関連や既習事項を生かしたつながりのある題材構成となっており、学習の効果が上がるように配慮されている。 ○ 学習のめあてが児童向けの観点で表記され、特に重点的に育てたい力には下線や色分けをして示し、振り返りの活動につながる工夫がなされている。 ○ 「学びの資料」で基礎的・基本的な製作過程を確認でき、「ためしてみよう」で発展的な製作の技能を紹介する配慮がなされている。 ○ 一つの題材において材料や表現方法を、各学校の年間指導計画や児童の実態に応じて選択できるように配慮されている。 ○ 身近な材料を使った題材から始まり、段階的に発想や構想を広げていけるように題材配列が工夫されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 重点的に育てたい力に対応した振り返りが示されており、基礎的・基本的な知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成ができるように配慮されている。 ○ 主に大切なめあてに対応したキャラクターがアドバイスを投げ掛けることにより、児童の主体的・対話的な活動へ導く配慮がなされている。 ○ 発達の段階に応じて発想・構想の広げ方や活動のヒントが具体的に示されており、児童が個性や能力を発揮して、更に活動が広げられるように配慮されている。 ○ 「あわせて学ぼう」マークと教科名を示し、他教科との関連を図り、教科横断的な学習の手立てとなるよう配慮がなされている。 ○ 製作の手順や活動の過程を写真やコメントで分かりやすく示しながら適切に配置しており、ウェブページにつながるQRコードが適宜示されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童の発想・構想を広げたり、深めたりするようリード文が題材名とともに添えられており、学習のめあては児童の発達の段階に合わせた平易で分かりやすい表現になっている。 ○ 書名の題字がそれぞれの学年で扱う材料の組み合わせによってできており、導入時に児童が親しみを持てる工夫がなされている。 ○ カラーユニバーサルデザインの視点から色覚の個人差を問わず、できるだけ多くの児童が見やすくなるように明度やコントラストに配慮された図や挿絵が使われている。 ○ 製作過程や一連の活動の流れが写真と矢印で示され、児童が見通しを持って活動できるよう配置やレイアウトが工夫されている。 ○ ページ数を減らしたことで開きやすく安定した製本になっている。また、植物性のインクと環境や児童の目を保護すること等の配慮がある用紙を使用している。 						

種 目	図画工作	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 6 日 文	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	図工 1 0 3 1 0 4 3 0 3 3 0 4 5 0 3 5 0 4	書 名	ずがこうさく1・2上 たのしいな おもしろいな ずがこうさく1・2下 たのしいな おもしろいな 図画工作3・4上 ためしたよ 見つけたよ 図画工作3・4下 ためしたよ 見つけたよ 図画工作5・6上 見つめて 広げて 図画工作5・6下 見つめて 広げて
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 作品例が多く掲載されており、作品に対する造形的な見方・考え方を深めていく工夫がなされている。 ○ 「教科書美術館」のコーナーや掲載されている児童作品等から、色や形、イメージ等についての意識を高める工夫がなされている。 ○ 作品例を基に発想や構想を広げ、基礎的・基本的な知識・理解を身に付けさせ、発達の段階に合わせて活動を発展させていくことができる構成になっている。 ○ 「図画工作のつながりひろがり」のコーナーでは、学校内外での作品の展示の工夫や地域とのつながりなどを紹介し、学習の充実と発展を図る工夫がなされている。 ○ 領域に偏りがなく、作品例を多く取り上げ、掲載されている美術作品については、作者や作品名等が明記されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 幼児期とのつながりを持たせた題材や中学校での学習に向けたメッセージを紹介するなど、幼保小及び小中の関連を図った児童の興味・関心を引き出す工夫がなされている。 ○ 教科の目標を踏まえた学習のめあてを示し、学んだことや身に付いた力を振り返ることができるまとまりのある内容となっている。 ○ 「使ってみよう材料と用具」のコーナーの中で、基礎的・基本的な内容の定着を図り、更に多様な表し方を示すことで発展的な表現に触れる配慮がなされている。 ○ 同一題材内において活動内容や材料等が選択でき、配当時間を調整することで、各学校の年間指導計画や学習環境に広く適合させることができるように配慮されている。 ○ 天候に左右されやすい屋外での造形遊びや光を扱う題材では、代わりに屋内で活動したり時期を変えたりできるよう、配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習で使う主な用具や技能の解説につながるリンクを示すことで、基礎的・基本的な知識・技能の習得や思考力・判断力・表現力等の育成ができるように配慮されている。 ○ 題材名下のリード文の投げ掛けや写真と関連付けた吹き出しによって、児童が主体的・対話的な活動を実践するための工夫がなされている。 ○ 多種多様な活動や作品の写真が多くあり、児童の個性や能力に合わせた造形活動が展開できるように配慮されている。 ○ 道徳との関連が深い教材に「道徳マーク」を示し、題材と道徳の関連が分かりやすいように工夫されている。 ○ 児童作品の写真には、作品の大きさと使った材料が示され、挿絵とともに配置されている。また、安全や環境に配慮したポイントも示されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 題材名の上に題材の内容を示し、児童はイメージを持ち、発達の段階に応じて見通しを持って活動を進めることができるように配慮されている。 ○ 表紙を開くと「教科書美術館」があり、色や形のおもしろさ、児童や著名な作家の作品を紹介し、活動への期待感や児童に意欲を持たせる工夫がなされている。 ○ 字体や字形が統一されているものが多く、更に児童の吹き出しの背景色が見やすく、カラーユニバーサルデザインに配慮されている。 ○ 児童作品や鑑賞作品の写真が大きくかつバランスよく掲載されており、児童が製作過程と作品を関連付けて活動しやすくなるようにレイアウトされている。 ○ ミシン目が細かく、丈夫に製本されている。また、植物性のインクと再生紙が使用されており環境にも配慮している。 						

種 目	家 庭	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 東書	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	家 庭 5 0 1	書 名	新 し い 家 庭 5 ・ 6
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育むことができるよう、「家庭科の窓」を設定し、生活の営みに係る見方・考え方の視点を考慮した学習内容となっている。 ○ 多くの題材に伝統文化に関連する内容が記載されており、郷土の歴史・文化に対する理解を深めることができる内容になっている。 ○ 発達の段階を考慮し、平易なものから段階的に配列されたストーリー性のある内容となっており、学習意欲を高めることができるよう工夫されている。 ○ 学習の充実を図ることができるよう「活動 深めよう」が配置されている。また、「実践の進め方」を示すことで、学んだことを家庭で活用しやすいよう工夫されている。 ○ 学習内容に偏りがなく、内容に広がりを持たせる資料があり、その出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎・基本から応用へと児童の発達の段階に応じて、系統的に配列されている。基礎技能の多くを5年生で学習できる配分とし、6年生で確実な定着を図るよう配慮されている。 ○ 大題材を「課題発見」、「課題解決・実践活動」、「評価・改善」の3ステップで展開し、ステップごとの学習の目当てが、タイトル下に示されている。 ○ 問題解決的な学習を繰り返し行うことができる構成になっている。また、全ての大題材で家族や家庭生活と結び付くよう配慮されている。 ○ 活動例や実習例を複数提示することで、地域や学校の実態に応じて、選択して指導できるよう配慮されている。 ○ 大題材の配列を組み替えることで、地域や学校の実態に応じた指導ができるものになっている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「いつも確かめよう」で基礎的・基本的な知識及び技能の習得を図り、3ステップの問題解決的な学習によって、思考力・判断力・表現力等を育むよう配慮がなされている。 ○ 「話し合おう」「深めよう」を設けることで、主体的・対話的で深い学びを実践する工夫がなされている。 ○ 実寸大写真とイラストを組み合わせた「いつも確かめよう」を活用することで、児童の多様な個性や特性（例：右利き、左利き）及び能力に対応できるよう工夫されている。 ○ 「他教科との関連を示すマーク」で、他教科等や中学校の技術・家庭の内容との関連を図ることができるよう配慮されている。 ○ 学習を支える関連資料やインターネットが活用できる「Dマーク」が配置されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小学校5年生以降で学習する常用漢字には、振り仮名が付けられている。また、イラストや写真は、家族構成や性別による役割固定にならないよう配慮されている。 ○ キャラクターの吹き出しの中の語り掛けが児童の気付きを促し、学習意欲を喚起するよう配慮されている。 ○ 写真が鮮明で、実習のイメージを持ちやすい。また、見やすく読み間違えにくいユニバーサルデザインフォントを使用している。 ○ 判型は、A4判を用い、一つの実習を見開きで概観することができるようなレイアウトになっている。 ○ 製本は堅ろうであり、長期間の使用に耐えるものである。また、再生紙・植物油インキを使用しており、環境に配慮されている。 						

種 目	家 庭	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	9 開隆堂	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	家 庭 5 0 2	書 名	小 学 校 わたしたちの家庭科 5・6
1 内 容 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 家庭生活をよりよくしようと工夫する資質・能力を育むことができるよう、「案内役クローバー」を設定し、生活の営みに係る見方・考え方の視点を考慮した学習内容となっている。 ○ 多くの題材に防災に備える内容が記載されており、防災意識を高めることができる内容となっている。 ○ 発達の段階を考慮し、基礎・基本から創意工夫へと広がる実習例・製作例が示され、学習意欲を高めることができるよう工夫されている。 ○ 内容が精選されており、児童が学習のポイントを理解しやすいよう配慮されている。また、具体例が豊富に示されており、家庭での実践につなげやすいよう工夫されている。 ○ 学習内容に偏りがなく、児童が活用しやすい資料が提示されており、その出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 基礎的・基本的な学習内容を押さえるために、調理の実習例、被服の製作例を平易なものから順に配列している。また、技能レベルに合わせた実習を行えるように配慮されている。 ○ 学習のめあては、大題材ごとに「見つける・気づく」、「わかる・できる」、「生かす・深める」の各項目で示されており、児童が何を学習するのが明確になっている。 ○ 基礎的・基本的な知識及び技能が身に付くように題材がスモールステップで構成され、学んだ内容を活用し、発展的な学習ができるよう工夫されている。 ○ 各学年の題材内容の分量が適切に配列されている。また、各学校の年間指導計画に柔軟に対応できる内容となっている。 ○ 題材が細かく区切られているので、地域や学校の実態に応じて、題材の組替えがしやすいつくりとなっている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 導入で「なぜ～だろう」と生活を見つめることにより、主体的に学ぼうとする意欲を高め、更に課題解決に向かうことで、思考力・判断力・表現力等が育まれるよう配慮されている。 ○ 題材の導入で「フォトランゲージ」（写真やイラストを活用した対話）を行うことにより、主体的・対話的で深い学びにつながる工夫がなされている。 ○ 児童の実践意欲を高める実習例や製作例が豊富で、多様な個性や特性（例：右利き、左利き）及び能力に対応できるように配慮されている。 ○ 様々な学びとの関連を示すアイコンマークを設けて、他教科等との関連を図ることができるように配慮されている。また、中学校との関連は巻末に示されている。 ○ 図や写真、イラスト、QRコード、学習を支える「一口メモ」などが適切に配置されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 する こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文節が途中で途切れないような分かち書きが意識され、児童が読みやすくなるよう工夫されている。また、専門的な用語は、児童が理解しやすい表現で解説されている。 ○ キャラクターが登場して、疑問を投げ掛けたり、つまづきやすい内容について注意を喚起したりして、児童の関心を高めるよう配慮されている。 ○ 重要語句をゴシック体で明記するなど、活字が大きくはっきりしている。また、ユニバーサルデザインフォントや見やすい色遣いなどで読みやすくしている。 ○ 課題を解決するための手掛かりとなる写真や学習内容の理解を助ける資料が、効果的な配置、大ききで示されている。 ○ 製本は堅ろうで、表紙には水に強い加工がされ、長期間の使用に耐えるものとなっている。また、植物性のインキを使用していて、環境に配慮されている。 						

種 目	保 健	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	保 健 3 0 1 5 0 1	書 名	新 し い ほ け ん 3 ・ 4 新 し い 保 健 5 ・ 6
			東書				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領で求められている、主体的・対話的で深い学びとなる授業の実現を目指して、各項が4つのステップで構成されている。 ○ 学校や地域では、多くの人が健康や安全を守る仕事をしていることを取り上げ、勤労を重んじる態度も養うことができるように配慮されている。 ○ 児童の興味・関心を高めるために、実生活を想起できるような写真やイラストが掲載されている。また、思考・判断したことを記入する欄が大きく設けられている。 ○ 児童にとって身近で、取り組みやすい内容を重点的に取り上げ、実践的に理解できるように配慮されている。 ○ 内容、資料とも偏りが無い。今日的な健康問題に対応した内容の資料が豊富に取り上げられ、出所、出典も明記されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領の配列に合わせ、各学年の内容が系統的に配列されている。また、他学年の内容や運動領域との関連も図られている。 ○ 各章のはじめに目標の達成までの道筋と学習内容の関係が示されていることで、児童が自らの学習段階を確認できるように配慮されている。 ○ 基礎的・基本的な知識について簡潔にまとめられ、重要語句を太字で示している。また、単位時間の最後には資料コーナーがあり、発展的な内容へも対応がなされている。 ○ 1単位時間4ページで構成されている。また、各学校の年間指導計画に広く適合できる内容及び分量となっている。 ○ ステップ4の振り返りでは、学習した内容について実生活と関連付けて考える発問が設定されており、今後の学習に生かせる工夫がされている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 課題の解決に向けて、情報を集めたり、調べたりする活動と、それらを基に話し合ったり、説明したりする活動が設定されている。 ○ 児童の気付きを生かして課題を設定する構成となっており、児童が主体的に学習できるように配慮されている。 ○ 内容項目ごとに資料コーナーがあり、学習を補完するものや発展的な内容の資料が豊富に掲載されている。 ○ 保健領域の他学年での学習や、他教科との関連が簡潔に示されており、本時の学びが新たな学びにつながるような配慮がされている。 ○ 関心・意欲を高めたり、気付きを与えたりする挿絵や図表、科学的な認識を促す写真等が配置されている。また、Dマーク（デジタルコンテンツ）が掲載されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章表現は各学年の発達の段階に応じており、未習の漢字や専門用語等には振り仮名が付けられている。 ○ 児童が、学習内容をイメージしやすいようにイラストや写真、マーク等が豊富に掲載されている。 ○ 文字の色彩や字体は、表題や学習事項等により変えられており、児童が一目で内容を把握できるように工夫されている。 ○ イラストや表、写真が大きく、視覚的に児童の興味・関心を高め、理解を深められるように配慮されている。 ○ 用紙は、書き込みがしやすく、軽量で丈夫な再生紙が使用されている。また、表紙には、防水や高強度の加工が施されている。 						

種 目	保 健	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	4	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	保 健 3 0 2 5 0 2	書 名	たのしいほけん 3・4年 たのしい保健 5・6年
			大日本				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 保健領域に新しく追加された「技能」について、確実に習得することができるように、実習の活動が多く設定されている。 ○ 課題に対して興味・関心を持ち続けられるように、児童が実生活で出会うような場面を設定し、健康や安全に関して具体的・体験的な解決を図れるように配慮されている。 ○ 章のはじめには「学習ゲーム」を設定し、児童がゲームを行うことで自然と学習の課題に気付き、意欲を持って取り組むことができるように工夫されている。 ○ 学習したことを他の場面に応用したり、個に応じて内容を深めたりすることができるように配慮されている。 ○ 内容、資料とも偏りが無い。多角的な学びができるように、現代的な諸課題に関する資料を多く取り上げ、出所、出典も明記されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に沿って各学年の学習内容が示されている。各単元が系統的に配列されており、児童が関連付けて学習できるように配慮されている。 ○ 「やってみよう」「話し合ってみよう」「調べてみよう」「活用して深めよう」等のコーナーで学習活動が構成されており、見通しを持って学習できる内容となっている。 ○ 基礎的・基本的な内容が身に付けられるように配慮されている。また、「発展」のコーナーが設けられており、中学校の内容にも触れられる設定となっている。 ○ 1単位時間が見開き2ページで構成されている。また、各学校の年間指導計画に広く適合できる内容及び分量となっている。 ○ 教材の配列が身近なものから地域社会へと配列されており、実生活や地域の実態に広く適合するように配慮されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「やってみよう」「話し合ってみよう」のコーナーを明確に示し、知識・技能の習得を図るための学習の流れが位置付けられている。 ○ 「活用して深めよう」のコーナーでは、学んだことを自分の立場になって考えたり、実践したりする活動を通して、多面的で深い理解につながるように配慮されている。 ○ 「もっと知りたい」のコーナーでは、学習内容に関連した資料が掲載されており、児童が興味・関心に応じて発展的な学習ができるように配慮されている。 ○ 他教科に関連した題材を扱うとともに、関連している教科を児童が分かるようにマークで示されている。 ○ 挿絵や図表等が効果的に配置されている。また、ウェブサイト上にデジタルコンテンツが準備されており、対応する項目にマークが示されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の発達の段階に即した文章表現で、重要事項が簡潔に記載されている。 ○ イラストや写真等は、児童が視覚的に興味・関心を持ちながら、学習課題に気付き、取り組むことができるように配慮されている。 ○ 文字の大きさや字体、色をユニバーサルデザイン化し、誰にでも使いやすいように配慮されている。 ○ 大きい誌面に写真やイラストが効果的に配置され、学習内容が児童により伝わるように工夫されている。 ○ 環境に配慮した紙と植物インキが使用され、表紙は丈夫で汚れにくくなるように加工されている。 						

種 目	保 健	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 0 7 文 教 社	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	保 健 3 0 3 5 0 3	書 名	わたしたちのほけん 3・4年 わたしたちの保健 5・6年
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習を児童の側から捉え、自分の心身への気付きや環境変化への対応など、身近な生活行動や生活環境の中から課題を見付け、自ら解決し、理解できるようになっている。 ○ 児童へのメッセージを記載し、感謝の気持ちを持つことなどの道徳心も養うことができるように工夫されている。 ○ 導入では、児童にとって分かりやすく、イメージしやすい場面を記載し、学習の見通しを持ち、主体的に取り組むことができるように工夫されている。 ○ 記述する欄を設け、話したり書いたりする方法で他者に伝える力を養えるように工夫されている。また、児童の理解度に応じた記述例が記載されている。 ○ 内容、資料とも偏りが無い。資料は官公庁などの信頼性のあるものを取り上げ、出所、出典等も明記されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に基付いて内容を取り上げている。各学年や運動領域と関連付けて学習できるように配慮されている。 ○ 「ふり返ってみよう」「調べてみよう」等のコーナーで学習活動が構成されおり、見通しを持って学習できる内容となっている。 ○ 基礎的・基本的な内容が身に付く内容となっている。また、「発展」のコーナーが設けられており、資料を通して発展的な内容にも対応している。 ○ 1単位時間の内容が、ページ数の分量に捉われず構成されている。また、各学校の年間指導計画に広く適合できる内容及び分量となっている。 ○ 児童の発達に合わせた教材の配列となっており、児童の実生活や地域の実態にも柔軟に対応できる内容となっている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「調べてみよう」「考えてみよう」等のコーナーを明確に示し、知識・技能の習得とともに、それらを活用して考える活動が学習に位置付けられている。 ○ 単元の導入では、児童にとって身近な場面が設定されており、自ら課題を見付け、学習の見通しを持って学習できるように配慮されている。 ○ 「つぶやきくん」のコーナーでは、より多角的な視点を与えたり、興味・関心を高めたりする工夫がされている。 ○ 「発展」のコーナーでは、共助や公助等を取り上げ、防災や社会科と関連付けられるように工夫されている。 ○ 挿絵、図表、写真等が効果的に配置されている。また、QRコードが掲載されており、ウェブサイトへアクセスして学習ができるように配慮されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 該当学年までに配当された漢字が使われ、未習の漢字には振り仮名が付けられている。また、文章記述は、簡潔にまとめられている。 ○ 子供のキャラクターが、児童の疑問や意見を代弁したり、養護教諭のキャラクターが分かりやすく補足したりして、児童が親しみをもちやすいように工夫されている。 ○ 文字の大きさや字体は、用途ごとに変えたり、重要語句や説明文は強調したりするなど、児童が見やすいものとなっている。 ○ 学習事項に即した図表が効果的に配置され、児童の学習理解を促すものとなっている。 ○ 用紙は、再生紙や植物インキが使用され、環境に配慮されている。また、製本は特殊加工が施され、2年間の使用に耐えられるように工夫されている。 						

種 目	保 健	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	208	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	保 健 304 504	書 名	小 学 ほ け ん 3・4年 小 学 保 健 5・6年
			光 文				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された内容を、分かりやすく具現化し、児童の実生活との関連を図り、実践に結び付けることができるようになっている。 ○ 生涯にわたって運動に親しみ、健康の保持増進を図っていくことができるように、運動と健康の関連について重視されている。 ○ 自分のこととして学習課題を捉え、主体的に問題解決的な学習を行えるように、学習の流れが分かりやすい構成で全単元が統一されている。 ○ 家庭や地域に関連して調べる活動も設定されており、実生活を見直したり、周囲の人々との関わりを考えたりすることができるようになっている。 ○ 内容、資料とも偏りがなく、出所、出典も明記されている。また、学習内容を補足する資料が豊富に掲載されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に沿って各学年の学習内容が示されている。目次には単元名の他に問い掛けの言葉が示されており、児童が見通しを持って学習できるように配慮されている。 ○ 目標の達成に向けて「調べよう」「考えよう」「やってみよう」「話し合おう」等のコーナーが適宜設定してあり、学習課題が解決できるように工夫されている。 ○ 基礎的・基本的な内容を身に付けることができるようになっている。また、章の終末には学習した内容を実生活に関連付けて考える活動が設定されている。 ○ 単元ごとのまとまりが明確で、1単位時間が見開き2ページで構成されている。また、各学校の年間指導計画に広く適合できる内容及び分量となっている。 ○ 終末の活動として「生かそう・伝えよう」のコーナーが設定されており、実生活と関連付けて学習できる内容となっている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 知識・技能の習得と、それらを活用する学習が位置付けられており、問題解決的な学習の流れが明確に示されている。 ○ キャラクターや学習の流れを示すマークが効果的に使われており、児童が主体的に学習したり、振り返ったりする学習への配慮がされている。 ○ 自分の考えや学習したことを記入する欄が適宜設けてあり、児童の思いや考えを引き出せるように配慮されている。 ○ 運動領域の「体ほぐしの運動」や特別の教科道徳をはじめ、他教科・他領域の学習との関連を図ることができるように配慮されている。 ○ 挿絵、図表、写真等が効果的に配置されている。また、QRコードが掲載されており、デジタルコンテンツを通して学習ができるように配慮されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 文章が簡潔に記述されていて、多くの漢字や熟語には、振り仮名が付けられている。また、基礎的・基本的な事項は強調され、説明が加えられている。 ○ イラストや写真等が豊富なほか、学習事項ごとに下色が変わられ、児童が親しみながら学習できる工夫がされている。 ○ 図表やグラフ等は、カラーユニバーサルデザインが採用されている。また、文字の大きさや字体は、内容のまとまりが分かりやすいように工夫して使われている。 ○ 図表等の大きさや配置は、児童が見やすいように配慮されている。また、文章と図表とを関連付けながら、内容を確かめられるように工夫されている。 ○ 表紙、本文はともに再生紙が原料とされ、印刷には植物油インキが使用されている。また、製本は紙の軽量化を図りながらも、堅ろう性が高められている。 						

種 目	保 健	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 2 4	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	保 健 3 0 5 5 0 5	書 名	みんなのほけん 3・4年 みんなの保健 5・6年
			学研				
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 健康な生活や行動の仕方を児童の実生活と関連付けた学習内容とし、主体的な健康づくりへの意欲を引き出すような工夫がされている。 ○ 「みんなの健康を守るさまざまな仕事」として様々な職業を取り上げ、児童が自らの将来について考えるための工夫がされている。 ○ 導入で実生活をチェックする活動を設けたり、キャラクターを用いたりして、児童が親しみを持って主体的に取り組むことができるようになっている。 ○ 各学年ともに、学習指導要領で示された配当授業時数内で指導ができるように構成され、学習の流れも分かりやすく明記されている。 ○ 内容、資料とも偏りが無い。健康や安全についての知識を身に付けられるように資料を多く掲載し、出所、出典も明記されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に基いて内容を取り上げている。児童が各学年や運動領域と関連付けて学習できるように配慮されている。 ○ 「つかむ」「考える・調べる」「まとめる・ふかめる」等のコーナーで学習活動が構成されており、見通しを持って学習できる内容となっている。 ○ 基礎的・基本的な内容が身に付けられるように配慮されている。また、「発展」のコーナーが設けられており、中学校の内容も記載されている。 ○ 1単位時間が見開き2ページで構成されている。また、各学校の年間指導計画に広く適合できる内容及び分量となっている。 ○ 「実習」のコーナーが設定されており、体験的な学習活動を通して、実生活と関連付けて学べるように配慮されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 確実に習得させたい内容については、詳しく説明されており、文章と挿絵・図表等を関連付けながら理解を促すように配慮されている。 ○ 児童の身近な場面から課題を設定し、見通しを持って学習できるように配慮されている。また、キャラクターの吹き出しから、児童の気付きを促すような工夫がされている。 ○ 各章ごとに資料が豊富に掲載されており、本時の学習を補ったり、児童の興味・関心に応じて発展的に学習したりできるように配慮されている。 ○ 保健領域の系統性や教科書内及び他教科と関連付けられ、児童が分かりやすいようにマークで示されている。 ○ 科学的な資料を掲載し、児童に科学的な認識を習得させるような工夫がされている。また、QRコードが掲載されており、必要に応じてデジタルコンテンツが活用できる。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一つの文章の長さや表現の仕方が、各学年の発達段階に応じている。また、重要語句は太く強調され、説明も加えられている。 ○ イラストや写真、感想等が、児童の実生活等に即しており、児童が親しみながら考えられるように工夫されている。 ○ 文字の大きさや字体、色は、ユニバーサルデザインに配慮し、児童が読みやすいように工夫されている。 ○ 図表やイラスト、写真等は学習事項と関連付けられている。また、その大きさや掲載数は、児童の学習効果を高められるように工夫されている。 ○ 環境に配慮して作成された用紙や植物油インキを用い、環境への負荷を軽減した印刷がなされている。また、製本は特殊加工を施し、堅ろうに仕上げられている。 						

種 目	英 語	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 東書	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	英 語 5 0 1 5 0 2 5 0 3	書 名	NEW HORIZON Elementary English Course 5 NEW HORIZON Elementary English Course Picture Dictionary NEW HORIZON Elementary English Course 6
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の本体と、2年間を通して使う表現をまとめた別冊「Picture Dictionary」と併せて使うことで、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力が育つように工夫されている。 ○ 年間を通して、目標設定と振り返りの一体化が図られており、2年間通した目標を意識したものになっている。 ○ 第5学年では「日本」、第6学年では「世界」をテーマに構成されており、学年を追って児童の意欲が高められるように工夫されている。 ○ 外国語活動からの接続と、中学校への橋渡しを意識した学習内容が選ばれており、充実した言語活動が行われるように工夫されている。 ○ 今日的な課題を意識して世界の人権・多様性について理解を深められるような資料が扱われており、出所・出典が明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ アウトプットの前に十分なインプットを取り入れることで全Unitを通して聞く・話す活動に十分慣れ親しめるような構成になっており、学習効果が上がるように工夫されている。 ○ 各Unitにおいて表現に目標が明示され、コミュニケーションを楽しむ学習の流れになっている。また、Unitのまとめごと学びを振り返り学習を確かめる配慮がなされている。 ○ 各Unitの最後に「Over the Horizon」のページが設けられており、学習したことに加えて、世界の異文化に触れて視野を広げることができるように配慮されている。 ○ 1ページの指導時間が45分、各活動が主に15分単位で構成されており、短時間学習や60分授業など、各学校の年間指導計画に広く適合できるものになっている。 ○ 児童の身近な生活を舞台としたストーリーから地域、日本へと、広がりのある配列となっており、児童の生活や各地域の実態に適合できるものになっている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unitの終末には、巻末のコミュニケーションカードを活用して、これまで学習した表現を使ったコミュニケーション活動が設定されている。ま ○ 児童が興味・関心のある話題を取り上げ、会話に必要感を持たせ、目的意識を持って児童が自ら考え表現するよう工夫されている。 ○ 既習の英語表現は話題に変化を付けながら何度もスパイラルに扱い、慣れ親しませる機会を設けており、知識や技能の定着を図れるように工夫されている。 ○ 全教科の指導時期を踏まえた配列になっており、他教科で学んだ題材を英語で扱うなど、他教科・領域との関連を図ることができるように配慮されている。 ○ Dマーク（デジタルコンテンツ）が掲載されており、児童の意欲に合わせて活用できるように配置されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年を追って平易な表現から難しいものへ段階的に配置するとともに、日本語表記においては上位学年配当漢字にはルビが付けられており、分かりやすさへの配慮がなされている。 ○ 4技能を表すキャラクターや活動の種類を示すマークが設定されており、児童が親しみを感じるよう工夫がされている。 ○ ユニバーサルデザインの書体を使用し、4線の幅は3：4：3と設定するなど、初めて文字を読み書きする小学生に配慮されたものになっている。 ○ どの単元も統一された配置で、写真やイラストも活動内容に合わせたレイアウトになっている。 ○ ページを開きやすく堅ろうな製本になっている。児童が書き込みながら学習できる用紙を用いるとともに、環境やアレルギーに配慮されたインキを用いている。 						

種 目	英 語	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	9 開隆堂	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	英語 5 0 3 6 0 3	書 名	Junior Sunshine 5 Junior Sunshine 6
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 繰り返し活用でき、対話によるやりとりをしたくなるような英語の表現を扱うことによつて、コミュニケーションの基礎となる資質・能力を育成できるよう工夫されている。 ○ 各学年の巻頭の CAN-DO マップで1年間の見通しを持たせ、学習内容のリストによって、できるようになったことを確認しながら学習を進めることができるよう配慮されている。 ○ 自分の好きなこと、進学や将来の夢など、児童の関心の高い内容を題材として扱うことで、意欲を高めながら学習できるよう工夫されている。 ○ Lesson の始まりで学習の見通しを持たせ、多様な活動を通して繰り返し学習させることで基礎的・基本的な知識及び技能を身に付け、それらを活用する力を育成できるよう工夫されている。 ○ 自分の国と様々な外国の様子を知ることができる写真やイラストの資料が扱われており、資料の出所、出典が明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 主に第5学年では身近な社会、第6学年では世界との関わりについて題材を扱っており、児童の視点を広げさせる題材の配列になるよう工夫されている。 ○ 各 Lesson の Lesson 名と最初の絵によって、何を題材としながらどのように学習を進めるのか、まとめの活動まで見通せるよう工夫されている。 ○ 前期末と後期末の年2回、学んだことを生かせるコミュニケーション活動「Project」が設定されており、学んだ内容を復習したり、発展的に活用したりすることができる。 ○ 繰り返し英語に慣れ親しむ活動は一つの活動が15分で行えるように構成されており、短時間学習に対応できるよう配慮されている。 ○ 文字の学習の導入段階では、音と文字を結び付ける学習から始まり、段階的に文や文章を読んで意味を捉える学習へと配列されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson の導入段階では、語彙や表現に繰り返し触れることができるようにし、後半に主体的に知識・技能を生かせるような活動が設定されている。 ○ 児童にとって自然で身近な場面が設定され、コミュニケーションの実感を味わいながら活動ができ、また、Think マークにより、グループで考える活動を明示している。 ○ 書く活動における記入欄には、児童がどの程度の分量の文を書いたらよいか分かるように、分量の目安となる罫線が引かれている。 ○ Lesson 名の脇に、関連する教科・領域名が掲載されていることから、児童が各教科・領域における学びの関連を意識しながら活動を進めることができる。 ○ 学習の意欲を継続して持たせることをねらいとし、中学校以降の英語の学習が多様な場で行えることを示したページを配置している。また、QRコードが掲載されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 活動の指示、異文化理解の説明文などにおいては、小学校高学年の児童の発達の段階に応じた表現で表記されている。 ○ 活動のイメージが持てるようなイラストや写真が配置され、児童が理解しやすいように配慮されている。 ○ 児童が書くアルファベットに近いフォントや、カラーユニバーサルデザインを使用するなど「読むこと」「書くこと」の配慮がされている。 ○ 活動のタイトルデザインが統一され、各活動が種類別に同じ位置に配置される紙面構成で、児童が迷わず活動できるように配慮されている。 ○ 表紙の強度が高く、ページも開きやすく堅ろうである。児童が書き込みながら学習できる環境に配慮した再生紙、植物性インキが使用されている。 						

種 目	英 語	発行者の番号・略称	1 1	教科書の記号・番号	英語 5 0 4 6 0 4	書 名	JUNIOR TOTAL ENGLISH 1
			学図				JUNIOR TOTAL ENGLISH 2
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 繰り返し気付きを大切にしたり、身近な交流を通して実際に使ったりすることで、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力が育つよう工夫されている。 ○ 各 Lesson の扉に目標と学習の進め方が明示されており、Lesson 末に Check Time で学びを振り返ることで、児童自身の学びの自己評価ができるように工夫されている。 ○ 他国籍の登場人物との交流場面が学習内容となっており、児童が自分のクラスと比較したり重ね合わせたりしながら意欲的に取り組める工夫がなされている。 ○ 1つの Lesson で1つのテーマを扱うことで学習内容が明確になっていることに加え、書き込むスペースが多く設けられており、充実した学習が進められるよう工夫されている。 ○ 国際理解や福祉、オリンピックなど広く内容を取り上げ、イラストや写真等資料の出所・出展が明確である。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 第5学年ではインプットを多くし、第6学年ではアウトプットを増やすように段階を追った配列となっており、2年間で系統的に学習の効果を上げられるように配慮されている。 ○ 各 Lesson 初めに掲載されている見開きのイラストに関する音声を聞くことから学習を始める構成となっており、Lesson のまとまりが意識されたものになっている。 ○ 巻末に10曲分の英語の歌（歌詞）が紹介されており、児童が耳にしたことのある英語や初めて耳にする英語に触れることで、新たな気付きを促すことができるよう配慮されている。 ○ 1つの活動が15分で行われる分量になっており、各学校の実態や年間指導計画に合わせて柔軟な対応ができるように配慮されている。 ○ 語彙、表現ともに第3・4学年で慣れ親しんだものから入り、段階的に難しいものに配列されており、児童の負担が少なくなるように配慮されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 英語を使ってコミュニケーションを行う目的や場面、状況が明確になっており、言語活動において児童の判断力や表現力を引き出すことができるように工夫されている。 ○ 児童が自分の気持ちを伝えるために話したり書いたりしたことを、経験や知識と結び付けることを重視しており、主体的・対話的で深い学びが実践されるように工夫されている。 ○ 「自分の好きなもの」や「自分に当てはまるもの」、「自分の思い」を話すというように、児童が英語を話す目的が明確になっており、互いの個性を認め合えるようになっている。 ○ 国際理解や職業、感謝・礼儀、将来の夢など道徳の様々な価値項目と関連した話題を扱っており、特に道徳教育との関連に配慮されている。 ○ 各 Lesson に共通する学習の手引きが巻頭に掲載されている。また、児童用QRコードは、各 Lesson の表現を授業で初めて聞くように限定して配置されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 英語表記においては学年に応じて徐々に難易度が高くなっているとともに、日本語表記においては上位学年配当漢字にルビが付けられており、児童の読みやすさに対応している。 ○ 巻頭に見開きで教科書の使い方が示されており、児童が「使ってみたい」「勉強してみたい」と感じるような配慮されている。 ○ 英語学習入門期でも文字の認識がしやすい書体が使用され、印刷も鮮明である。また、4線の幅は5：6：5と設定されており、中学校への接続も配慮されている。 ○ リスニングの助けとなるイラスト中心のページと、情報を得るための写真や文字、イラストを組み合わせたページがバランスよく配置されている。 ○ 紙面が広く使えるように綴じられており、堅ろうである。軽量で書き込みやすい再生紙、植物性インキが使用されており、環境への配慮もされている。 						

種 目	英 語	発行者の番号・略称	1 5	教科書の記号・番号	英語 5 0 5 6 0 5	書 名	CROWN Jr. 5 CROWN Jr. 6
			三省堂				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が対話をしたくなるような題材，リアクションや対話例を掲載することでコミュニケーションの基礎となる資質・能力を育成できるよう工夫されている。 ○ 各学年の巻末にどの技能と関連しているのかが分かる CAN-DO リストが掲載されていることで，学習の目標が明確になるとともに児童の自己評価がしやすいよう工夫されている。 ○ 身の回りに関する事柄のほか，日本の伝統文化や他国の文化，動物や自然，将来の職業等，児童の興味・関心の高い題材を扱っており，児童の学習意欲を高めるよう工夫されている。 ○ 各 Lesson には，児童の実態に合わせて多様な活動を設定できるページと，多くの英語に触れることができる活動が段階的に配置されている。 ○ 英語圏のみに限定せず，世界の様々な言語を紹介している。また，写真や映像も含め資料の出所，出典が明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 3つの各大單元には HOP, STEP, JUMP の学習の段階が設定され，中期間の学びの見通しを立てながら学習を進めることができるように工夫されている。 ○ 各 Lesson の前半では，文脈のある中で多くのインプットを行い，後半では自分の気持ちや思いをアウトプットできるコミュニケーション活動を展開できる構成になっている。 ○ ターゲット表現を明確にし，繰り返し多様な活動を通して既習の表現に触れることができるようになっており，学習した英語の表現が無理なく定着するよう工夫されている。 ○ 年度初めと終わり及び長期休みの前の Lesson が，1時間ずつ活動時間を調整できる指導計画案が提案されている。 ○ 第5学年では，自分のことに始まり，身の回りの人々，日常生活を題材とし，第6学年では更に世界各地や将来の夢などについて，段階的に題材として扱っている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ ペアやグループの活動により，児童自らの気持ちや考えを伝えられる場面をつくっている。さらに，Lesson ごとのまとめの段階では，学んだことを活用する活動が設定されている。 ○ 高学年の児童の知的好奇心を刺激する話題について扱うとともに，ペアワーク等を多く配置し，対話的な学びを促す内容を扱うなど工夫されている。 ○ 語彙の大部分はイラストと共に綴りが示され，児童が表現活動をする際の助けとなるよう配慮され，また，推測する力やあいまいさに耐える力を養う工夫がされている。 ○ 日本や世界各地の自然や文化を取り上げ，社会科との関連を図るなど，各教科・領域との関連が図られた題材が配置され，学習の効果が上がるように工夫されている。 ○ 様々な言語や異文化について興味や関心を高めるようなコラムや，コミュニケーションの仕方について考えさせるコーナーが設定されている。また，QRコードが掲載されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字には全て振り仮名が振られており，学年に応じた表記，表現になるよう配慮している。 ○ 単元ごとに数多くのイラストや写真が配置され，児童が親しみや魅力を感じるよう配慮されている。 ○ 書く活動のための書体は手書きに近い書体を採用し，文字の大きさや印字の濃さも鮮明である。 ○ 継続して行う活動は，分かりやすく色分けするとともに，児童の興味や関心を高めさせるために大きな写真やイラストを配置している。 ○ 製本も堅ろうであり，用紙の白色度が高くなくない用紙や植物油インキを使用するなど環境に配慮している。 						

種 目	英 語	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	17 教 出	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	英 語 5 0 6 6 0 6	書 名	ONE WORLD Smiles 5 ONE WORLD Smiles 6
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 実際の場面を想定した活動や、他者と関わりながら進めていく活動が豊富に取り上げられており、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力が育つように工夫されている。 ○ 学年の目標を冒頭に提示し、各単元では、初めに目標を示し、単元末の3観点の振り返り表で児童が目標を意識したり自己評価を行ったりできるように工夫されている。 ○ 児童に身近な学校生活から国際理解まで広い題材を扱っており、児童が英語を使って発信してみたいという意欲を喚起させるように工夫されている。 ○ 基本的な言語活動が段階的に配置されており、実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能が身に付けられるように工夫されている。 ○ 日本を含めた世界の多様な文化を広く取り上げており、イラストや写真などの資料の出所・出典が明示されている。 						
2 組 織 と 配 列 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年を追って視野を広げることができるような学習内容が段階的に配列されており、2年間を通して学習成果が得られるよう配慮されている。 ○ 各 Lesson の最初に扱うページに明示された単元の目標を意識して各活動を進めていく構成になっており、児童が見通しをもって学習することができるようになっている。 ○ 各 Lesson において十分なインプットを行った上で、やり取り、読むこと、書くことの活動が設定されており、英語の歌や辞書の使い方など、発展的な学習にも対応している。 ○ 各 Lesson の配当時間は柔軟に進めることができる余裕があり、また、10～15分で終わることが可能な活動が配置されるなど、各校の年間計画に対応できるよう配慮されている。 ○ 自分に関することや学校生活、自分の町や日本についてと題材が広がるように配列されており、児童の生活や地域の実態に合わせた指導ができるように配慮されている。 						
3 学 習 と 指 導 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ Lesson の最後に学んだ表現を使って相手とやり取りする活動が設定されており、基礎的・基本的な知識や技能を生かして英語の表現力が育つように工夫されている。 ○ 児童にとって関心の高い話題や自分の経験に基づいて考えられる話題を取り上げており、主体的に英語を聞いたり話したりすることができるように工夫されている。 ○ 文及び文構造については、繰り返し扱ったり、新たに扱う文構造については、コミュニケーションの中で繰り返し触れたりすることを通して、理解を促す工夫がされている。 ○ 低学年で学習した国語や道徳の授業で扱った教材を英語で聞いたり読んだりする活動が設定されており、学年を越えた教科間の関連に配慮されている。 ○ 様々な作家のイラストが使用されており、偏りが無い。また、学習の進度に沿ったQRコードとURLが配置されている。 						
4 表 現 と 体 裁 等 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 表現については、第3・4学年での活動を踏まえ、各学年の発達に応じて徐々に幅が広がっており、適切である。 ○ 色鮮やかな外国の建物や風景の写真、親しみの持てる登場人物のイラストなどにより、児童が興味を持てるような紙面になっている。 ○ 手書きのアルファベットに近い書体が使われている。また、4線の幅は4：5：4と設定されており、中学校への接続を意識したものになっている。 ○ イラストや写真が活動の内容に応じてバランスよく配置されており、学習の内容がより伝わりやすいものになっている。 ○ 堅ろうな製本である。また、環境に配慮して作られたものであることが児童にも伝わるように、裏表紙の説明にカラーのマークが添えられている。 						

種 目	英 語	発行者の番号・略称	3 8 光村	教科書の記号・番号	英語 5 0 7 6 0 7	書 名	Here We Go! 5 Here We Go! 6
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 対話によって考えや気持ちを伝え合いやすいストーリーのある場面設定によって、自然な形でコミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を高めることができる。 ○ 12か国の同世代の子供たちの生活の様子を知ることができるようになっており、多様な文化と言語への興味・関心を高めることができるように工夫されている。 ○ 高学年の児童が興味を持つような多様な曲調のチャンツや歌を扱い、児童の学習意欲を高めながら無理なく繰り返し英語の表現に慣れ親しむことができるよう工夫されている。 ○ 相づちの表現のコーナーや、気持ちを込めて言葉を扱うことを考えさせる特設ページによって、年間を通じて対話によるよりよいコミュニケーションを促す工夫がある。 ○ 幅広い時代や地域の英語の歌や物語、詩を多く扱っており、また、写真や映像も含め資料の出所、出典が明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit は、Hop, Step, Jump で構成されており、聞く活動・話す活動・書く活動と、無理のないスモールステップで進められるよう配慮されている。 ○ バックワードデザインで Unit を構成しており、「できるようになること」を意識して学習が進められるよう単元構成が工夫されている。 ○ Alphabet Time を第5学年の初期の単元に設定することや、巻末のペンマンシップ・シートによって書く活動に丁寧に取り組めるように工夫されている。 ○ 2期制、3期制のいずれにも対応できるように Unit が設置されている。また、各活動時間が10分前後になっているので短時間学習でも扱えるよう配慮されている。 ○ 自己紹介、夏休みの思い出、中学校生活等の内容を扱った Unit が、児童の実際の学校生活に関連付けて配列されている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 言語習得の理論に沿った学習の流れとなっており、Unit ごとに聞く活動から話す活動、書く活動へと自然に行うことができるコミュニケーション活動が配置されている。 ○ 各単元に、各グループ等で協働して学習をする活動として Let's Try. と You can do it! が設定されており、児童が主体的に活動できる工夫がされている。 ○ 英語が使われている場面や状況が児童にとって身近なものであり、英語を使う目的や必要感を理解しながら学習できるよう工夫されている。 ○ 内容言語統合型学習の考えをもとに、他教科での学びを生かす活動や、英語を学びながら田の教科の学習内容について理解を深めるような活動が設定されている。 ○ Review 等のコーナーには、QRコードが配置され、映像を視聴することができる工夫がされている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 日本語の表記においては、当該学年までの漢字を使用し、当該学年の漢字は、全て振り仮名が振られており、学習の習熟の状況や外国籍の児童に配慮されている。 ○ 児童が内容を推測しやすいような写真やイラストが数多く掲載され、学習に効果的に使用できるよう配慮されている。 ○ 英語は、間違いやすいアルファベットの形を分かりやすく表現した書体を使用したり、書くことの教材は、大きな文字を使用したりするなど工夫されている。 ○ イラストや写真を大きく掲載し、学習内容や方法がイメージしやすいようにバランスよくレイアウトされている。 ○ 原料や製法について環境に配慮した用紙を使用し、印刷にはエコマーク認定の植物油インキを使用するとともに、堅ろうな製本になっている。 						

種 目	英 語	発行者の番号・略称	6 1 啓林館	教科書の記号・番号	英語 5 0 8 6 0 8	書 名	Blue Sky elementary 5 Blue Sky elementary 6
1 内容に 関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ Unit 後半の Activity で、学んだ英語を使えるような活動が設定されており、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を総合的に育成できるよう工夫されている。 ○ 各 Unit で異文化について考えさせる話題が提示されており、自ら調べたり、授業で話し合ったりすることで学びに向かう力や人間性等を高めることができる。 ○ 児童の身近な題材を扱うことにより、興味や関心を自然な形で高めさせることができるとともに、実際に英語を使ってみようとする意欲を高めることができる。 ○ Unit の導入時に、話題を広げて行える small talk や、Unit の中に自ら調べる課題が提示されており、各 Unit の題材を発展的に扱うことができるような工夫がある。 ○ 多様な地域の人々や様子、幅広い年代の登場人物のイラスト、写真などが必要に応じて用いられ、出所、出典が明示されている。 						
2 組織と配列に 関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前学年の学習を復習できる Pre Unit が設定され、学期末の REVIEW では、学習した知識や技能を使って挑戦する活動が配置されるなど、段階的に学習できる工夫されている。 ○ 各 Unit は、導入で全体の目当てを提示し、インプット・インテイク、アウトプット、振り返りといった流れで学習した内容を活用しながら学習できるよう系統的に配列されている。 ○ 英語を繰り返し聞くことや、意味や使い方を理解できる活動を行った上で、アウトプット活動を行う構成にするとともに、学んだことを繰り返し使える場面が設定されている。 ○ Unit の区分が 2 期制、3 期制ともに対応できる Unit 構成である。また、年度の始まりの時期にゆとりをもたせた指導計画になっている。 ○ どの地域でも扱いやすい内容が扱われているとともに、各学校、地域の実態に合わせて Unit を入れ換えがしやすい題材になっている。 						
3 学習と指導に 関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 理解したことを児童同士で共有し、他の児童の発話を聞いてまねしながら学びを深められるようにするなど、やりとりの機会を多く設けるなどの工夫が見られる。 ○ 「学校生活」「夏休みの思い出」など、児童の身近な題材を取り扱うことで、児童の学習への意欲を喚起するような工夫がされている。 ○ 活動の指示文や異文化理解を促す説明文は、焦点を絞って短く表記されており、児童の発達の段階に適した表現を使用するなど配慮されている。 ○ 日本語との語順やアクセントの違いを取り上げたり、算数や理科をはじめ各教科、領域と関連付けた活動を取り扱ったりするなど、他教科との関連を図る工夫がされている。 ○ 巻頭に、児童が学習の流れを把握するための支援となる学習の手引きが掲載されている。また、QRコードが掲載されており、デジタルコンテンツを活用することができる。 						
4 表現と体裁等に 関する点	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の学習状況に即した表記が扱われ、異文化理解に関する説明文は、児童の発達の段階に合った表現になっている。 ○ 児童に親しみのあるキャラクターを使用するとともに、児童が興味を持つような動物や食べ物、スポーツを題材に扱っている。 ○ ユニバーサルデザインのフォントを扱い、行間や 1 行あたりの文字数についても配慮されている。 ○ 見開きのページにおける写真やイラストの分量が配慮されたものになっており、各活動の区切りが分かりやすいように枠が配置されている。 ○ 堅牢な製本であり、環境に配慮した植物油インキや、紙面に書く活動を想定していることから、書きやすく、消しやすい用紙を使用している。 						

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道徳	書 名	新訂	
		東書	1 3 1 2 3 1 3 3 1 4 3 1 5 3 1 6 3 1		あたらしいどうとく 新しいどうとく 新しいどうとく 新しいどうとく 新しい道徳 新しい道徳		1 2 3 4 5 6	
1 内 容 関 に す る こ と	○ 道徳の目標達成のため、他人とのコミュニケーションを通して、道徳的諸価値について考えることができるよう、児童同士の交流を促す教材が工夫されている。 ○ 今日の課題である「いじめ」「防災・安全」「情報モラル」について考えることのできる教材が各学年で設定されている。 ○ 「いじめ」については、どの学年においても直接的教材と間接的教材が掲載されており、児童の実態に合わせて指導ができるように工夫されている。 ○ 児童の生活に即した内容の読みもの教材が取り上げられており、自分自身のこととして考えられ、学習の充実と発展を図ることができるように配慮されている。 ○ 感動的な読みもの教材や身近で共感を呼ぶ教材など、幅広い内容が取り上げられており、資料の出所、出典が明示されている。							
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	○ 道徳の学習についてのオリエンテーションのページと、まとめごとに自分を振り返るページが設けられ、児童自身が成長に気付くことができるように工夫されている。 ○ 学習指導要領に示された4つの視点を、児童に分かりやすいように端的に示して学習のねらいが明確になるように工夫されている。 ○ いじめ問題に特化したユニット「いじめのない世界へ」は、とびらのページ、直接的教材、間接的教材からなり、重点的に扱えるよう配慮されている。 ○ 児童の発達の段階に合わせて、1つの学年に取り上げる4つの視点の割合が工夫されている。低学年は「A」に、高学年は「C」についての教材が多くなっている。 ○ 各学年で重点項目となり得る内容項目の教材を複数配置し、各学校の年間指導計画に適合できるように工夫されている。							
3 学 習 関 と す 指 導 こ に と	○ 教材の最後に中心発問となる設問と、自分との関わりで考えを深められる設問が明示され、自己の生き方について考えを深める学習が進められるように配慮されている。 ○ 学習テーマが明確で、教材を扱う前に問題を提起したり、積極的に議論を促す活動型教材が設けられたりするなど工夫されている。 ○ 3～6年生には問題解決的な学習ができるような教材を配置し、話合いの手引きを基に学習が進められるように工夫されている。 ○ 他教科や特別活動との関連が図られており、児童の生活や学習に適合できるよう配慮されている。 ○ 挿絵、写真、Dマーク（デジタルコンテンツ）が効果的に掲載されており、児童が考える際のヒントになるように工夫されている。							
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	○ 教材文は読みやすいよう、児童の発達の段階に合わせて文字の大きさや太さが工夫されている。また、言葉のまとめりで改行したり、行数を文字のそばに示したりして、読み間違いがないように配慮されている。 ○ 図表は見分けのつきやすい色を使用したり、振り仮名も本文とは字体を変えたりするなど、誰もが読みやすいように工夫されている。 ○ 書き込み欄には罫線が引かれており、児童が書きやすいように配慮されている。 ○ 文字と挿絵や写真がバランスよく配置され、余白を適度に確保したゆとりある紙面構成になっている。 ○ 軽量で丈夫な再生紙や化学物質を抑えた植物油インキを使用しており、環境への配慮がなされている。							

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1	道 徳	書 名
			学 図		
				1 3 2 1 3 3 2 3 2 2 3 3 3 3 2 3 3 3 4 3 2 4 3 3 5 3 2 5 3 3 6 3 2 6 3 3	かがやけみらい しょうがっこう どうとく 1ねん よみもの かがやけみらい しょうがっこう どうとく 1ねん かつどう かがやけみらい 小学校 どうとく 2年 よみもの かがやけみらい 小学校 どうとく 2年 かつどう かがやけみらい 小学校 どうとく 3年 読みもの かがやけみらい 小学校 どうとく 3年 活動 かがやけみらい 小学校 どうとく 4年 読みもの かがやけみらい 小学校 どうとく 4年 活動 かがやけみらい 小学校 道徳 5年 読みもの かがやけみらい 小学校 道徳 5年 活動 かがやけみらい 小学校 道徳 6年 読みもの かがやけみらい 小学校 道徳 6年 活動
1 内 容 に 関 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳の目標達成のために、児童自身が課題意識を持ったり道徳的諸価値に迫ったりできるように、用途を明確にした「きづき」と「まなび」との2分冊で構成されている。 ○ 現代社会を生きるために必要な事柄が学べるよう、「いじめ問題」「情報モラル」「防災・安全教育」「五輪教育」等に関わる教材が掲載されている。 ○ 児童が興味・関心を持ち、より多様な価値観に触れられるよう、児童の心身の発達の段階を考慮した充実した教材が取り入れられている。 ○ 道徳的価値をより実践的なものにするために、「まなび」の「つなげていこう」では、自己の未来につなげる振り返りができるようにするなど工夫されている。 ○ 自らの生き方について主体的な探求を促すために、「命」「人」「文化」「夢」との4つのつながりを基に教材が選定されており、出所、出典が明示されている。 				
2 組 織 関 と す 配 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年の冒頭にガイダンスのページを配置し、教科書の活用の仕方を示すことで、効果的な学習ができるように配慮されている。 ○ 教材文を掲載した「きづき」と、発問や体験的学習を掲載した「まなび」の2分冊で構成されており、「考え、議論する道徳」「主体的、対話的で深い学び」への転換を図ることができるように配慮されている。 ○ 道徳の授業を保障するための十分な教材数で構成されている。また、学習指導要領総則に示されている重点項目については、各学年で複数教材が用意されており、重点的な指導ができるように配慮されている。 ○ 各学期で、4つの視点と内容項目を満遍なく学べるように教材が配列されており、2学期制、3学期制どちらにも対応できるように配慮されている。 ○ 学校行事や全国的な啓発活動との関連に配慮して教材が配列されている。 				
3 学 習 関 と 指 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 児童が自ら考え、対話を通して多面的・多角的に考えを深められるように、問題解決的な学習や体験的な学習等、多様な学習活動ができるように配慮されている。 ○ 「まなび」の「かんがえよう」では、道徳的価値について児童が主体的に取り組む話し合い活動が示され、振り返り「つなげていこう」では、道徳的価値を自分との関わりで捉えられるよう配慮されている。 ○ 「まなび」には、発問だけでなく書き込み欄を設けてあり、学びの記録やポートフォリオとして活用でき、児童自身の学びの実感を深められるように配慮されている。 ○ 「まなび」の中に、他教科の学習や総合的な学習の時間等で生かせる様々な言語活動が豊富に盛り込まれており、他教科等との関連に配慮されている。 ○ 教材に興味を持ったり人物の行動や気持ちに共感したりするために効果的な挿絵や写真が配置されている。また、QRコードが配置されている。 				
4 表 現 関 と す 体 裁 等 に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年の発達の段階に応じた適切な表記、表現となっており、振り仮名を付けたり、分かち書きや文節改行を導入したりするなど、児童の読みの負担を軽減している。 ○ 児童に親しみやすい配色やデザインに配慮している。また、内容項目や多様な学び方がマークで示されており、学習内容が一目で分かるように工夫されている。 ○ 標準的な教科書体を使用し、発達の段階に応じた文字の大きさとなっている。 ○ 分冊となっていることから、目的に応じたゆとりのある紙面構成となっている。また、色彩や印刷は鮮明である。 ○ 2分冊とも軽量で扱いやすい製本となっている。「きづき」は、堅ろうであり、「まなび」は、書き込みをしやすく中綴じとし、鉛筆等で書きやすい用紙が採用されている。再生紙、植物油インキを用いるなど、環境への配慮もされている。 				

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 7	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道 徳 1 3 4 2 3 4 3 3 4 4 3 4 5 3 4 6 3 4	書 名	小学どうとく1 はばたこうあすへ 小学どうとく2 はばたこう明日へ 小学どうとく3 はばたこう明日へ 小学どうとく4 はばたこう明日へ 小学道徳5 はばたこう明日へ 小学道徳6 はばたこう明日へ
			教出				
1 内 容 関 連 す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 多様な感じ方や考え方ができる教材を多く取り上げ、自分の考えを書いたり、友達と話し合ったりする活動を充実させることができるように工夫されている。 ○ 「生命を尊重する態度」「いじめをなくす態度」「情報モラルを守る態度」を育てることを重視し、発達の段階に合わせて発展的に指導できるように工夫されている。 ○ 地域の文化・伝統に触れたり、地域のために尽くした人々や各分野で活躍する人物を多く取り上げたりすることで、児童の興味・関心を喚起するように工夫されている。 ○ 「学びの手引き」の中に「つなげよう」が設けられており、学んだ道徳的価値について生活の中で生かすことができるように設問が工夫されている。 ○ 長く親しまれてきた教材や近年話題となった事柄を取り上げた教材などが幅広く採用され、出所、出典が明示されている。 						
2 組 織 関 連 す る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 各学年とも指導要領に示された4つの視点について、バランスよく取り上げられており、発達の段階や題材の系統性に配慮されている。 ○ 内容項目ごとに複数の教材を並べて配列しており、学習のねらいが明確で内容のまとまりがある。 ○ 重視したテーマについては、複数の教材を配置し、内容項目を関連的・発展的に捉え、重点的な取扱いができるように配慮されている。 ○ 1年生は4点、2～6年生は5点の補充教材が準備され、学校の教育活動の実態に合わせた指導ができるように配慮されている。 ○ 学校行事や地域の伝統行事等に関連する教材は、季節感が感じられる配列になるように配慮されている。 						
3 学 習 関 連 す る 指 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 内容項目ごとに「導入」が設けられており、学習のねらいを明確に把握させ、問題解決的な学習が展開できるように工夫されている。 ○ 教材末の「学びの手引き」は、児童が主体的に考えたり、問題解決的な学習等により対話を通して考えを深めたりすることができるよう工夫されている。 ○ 多様なアクティビティやモラルスキルトレーニングのページが設けられており、体験的な学習ができるように工夫されている。 ○ 児童の学校生活に即した題材を取り上げ、学校の年間行事と関連させて指導ができるように配慮されている。 ○ 挿絵、写真が効果的に掲載されており、児童が考える際のヒントとなるように工夫されている。 						
4 表 現 関 連 す る 裁 こ 等 に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本文は、分かりやすい表現となっている。児童にとって難解な言葉や必要な情報には「注」を付けて解説するなど、理解しやすいように配慮されている。 ○ 挿絵の登場人物をフェルトや人形にするなど、児童が親しみを持って教材に関わることができるように工夫されている。 ○ 活字の大きさや字体は適切で、判別しやすい配色にするなど見やすさに配慮されている。また、挿絵や写真は明るく鮮明である。 ○ 見開きページには必ず教材の内容を考慮した挿絵や写真が配置され、見やすいように配慮されている。 ○ 再生紙と植物油インキを使用し、印刷にはグリーン電力を使用しており、環境への影響を少なくするように配慮されている。 						

種 目	道 徳	発行者の番号・略称	3 8 光村	教科書の記号・番号	道徳 1 3 5 2 3 5 3 3 5 4 3 5 5 3 5 6 3 5	書 名	どうとく1 きみがいちばんひかるとき どうとく2 きみがいちばんひかるとき どうとく3 きみがいちばんひかるとき どうとく4 きみがいちばんひかるとき 道徳 5 きみがいちばんひかるとき 道徳 6 きみがいちばんひかるとき
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳の目標達成のため「主体的な学び」「対話的な学び」を重視しており、登場人物への自我関与、体験的な学習、問題解決的な学習の指導ができるように工夫されている。 ○ 生命を大切にすることの育成に重点が置かれている。いじめ問題や生命の尊さに関する教材が十分に取り入れられ、児童が命を大切にすることの心情を育めるよう配慮されている。 ○ 児童の発達段階を踏まえた系統性が意識され、児童が興味・関心を持ち、多様な価値観に触れられるように配慮されている。 ○ 各学年に、よびかけ、教材、コラムを組み合わせた現代的な問題を取り扱う「ユニット」が年間5か所（1・2年生は2か所）に位置付けられ、学習の充実と発展が図られるよう工夫されている。 ○ 「生命の尊厳」「自然」「伝統と文化」「先人の伝記」「情報化への対応」「スポーツ等」多様な教材がバランスよく配置されており、出所、出典が明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校生活の実態と、それに伴う児童の成長を考慮して、1年間の3つのまとまりに分けて重点化を図り、学習の効果が上がるよう配慮されている。 ○ 教材の学習の手引きには、児童が教材を通して何を学ぶのかを意識できるよう「めあて」が示され、学習のねらいを捉えやすいように配慮されている。 ○ 学年ごとの重点項目については複数教材で扱い、児童の実態に応じて関連的・発展的に学習できるように配慮されている。 ○ 内容項目の数や分量が適切である。また、各学年に35点（1年生のみ34点）の教材が用意され、各学校の年間指導計画に適合しやすいように配慮されている。 ○ 学習の時期を考慮し、児童の生活に合わせた教材配列になっている。巻末に教材ごとの内容項目と他教科等との関連を一覧にして掲載し、計画的な指導への配慮がなされている。 						
3 学習と指導 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 問題解決的な学習に適した教材が豊富に取り入れられ、話し合い活動を通して物事を多面的・多角的に考え、自己の生き方について考えを深めることができるよう配慮されている。 ○ 日常生活の中で起こりがちな葛藤場面や、決断を求められる場面に焦点を当てた教材が多数用意され、主体的な学習を促す配慮がなされている。 ○ 児童が自己評価を書き込むページが設定され、記述の蓄積により、児童の個性や能力に応じた成長の様子が把握できるように配慮されている。 ○ 「つなげよう」には、教材に関連する図書や人物が紹介され、他教科や日常生活との関連が図れるように工夫されている。 ○ 挿絵、写真が効果的に掲載されている。また、内容を解説するための図表やグラフを必要な箇所に付して、児童の理解を深めることができるよう配慮されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 発達段階に応じた表記及び表現が工夫されている。当該学年以上の漢字には全て振り仮名が付けられており、読みの負担を軽減するための配慮がなされている。 ○ 各学年に共通して登場するキャラクター、漫画、写真、イラスト等を活用し、児童が親しみや魅力を感じるように配慮されている。 ○ 学年に応じた適切な文字の大きさとなっている。また、ユニバーサルデザインの観点から色合いやレイアウトを工夫し、見やすさへの配慮が見られる。 ○ 挿絵や図表等の配置が適切に考慮されている。全学年で統一したマークの使用や紙面構成により、児童が学習の流れを捉えやすいように配慮されている。 ○ 表紙は耐久性を高める加工を施して折れにくく、製本は堅ろうである。また、軽量化した再生紙や植物油インキを使用し、環境への配慮がなされている。 						

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	1 1 6	道 徳 1 3 6 1 3 7 2 3 6 2 3 7 3 3 6 3 3 7 4 3 6 4 3 7 5 3 6 5 3 7 6 3 6 6 3 7	書 名	しょうがくどうとく いきる ちから 1 しょうがくどうとく いきる ちから 1 どうとくノート 小学どうとく 生きる力 2 小学どうとく 生きる力 2 どうとくノート 小学どうとく 生きる力 3 小学どうとく 生きる力 3 どうとくノート 小学どうとく 生きる力 4 小学どうとく 生きる力 4 どうとくノート 小学道徳 生きる力 5 小学道徳 生きる力 5 道徳ノート 小学道徳 生きる力 6 小学道徳 生きる力 6 道徳ノート
			日 文			
1 内 容 関 関 に す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳の目標達成のため「主体的な学び」「豊かな対話と学び合い」「現代的・社会的課題への対応」が重視されている。また分冊として「道徳ノート」が付けられている。 ○ いじめ問題が最重要テーマに位置付けられている。各学年とも複数の教材を用意し、多面的・多角的な視点から考えられるように工夫、重点化されている。 ○ 1年生は、幼・保との連携、高学年においては中学校段階との接続を考慮するなど、発達の段階を踏まえた系統性が意識されている。 ○ 教材は精選されている。また、教材と関連した内容や活動を例示した「心のベンチ」のページによって、発展的で充実した学習が展開できるように工夫されている。 ○ 「生命の尊厳」「自然」「伝統と文化」「先人の伝記」「スポーツ」「情報化への対応」等、多様な内容の教材が偏りなく配置されており、出所、出典が明確である。 					
2 組 織 関 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 前半には学級づくりや人間関係の形成に関する内容、後半には振り返りや深化、発展を意識した内容項目や教材が配置され、学習効果の向上を図る工夫がされている。 ○ 各教材には主題名とその教材の価値に関わる導入の発問例を示すことで、ねらいが明確化され、児童が見通しを持って学習できるように配慮されている。 ○ 「いじめの防止」等、重要なテーマに関わる教材については、複数の教材が配置され、学級の状況に応じて関連的・発展的に扱うことができるように工夫されている。 ○ 各学年とも35点（1年生は34点）の主教材と「ふるく」として3～4点の教材が収められ、年間指導計画作成に際して幅広い選択ができるように配慮されている。 ○ 学校行事、他教科の学習内容、伝統的な行事の実施時期等との関係を考慮した教材配列になっている。また、地域教材の活用、開発にも配慮されている。 					
3 学 習 関 関 と す 指 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 別冊の「道徳ノート」は、自分の考えや友達のことを記入する欄が設けられており、物事を多面的・多角的に考えることができるように工夫されている。 ○ 問題解決的な学習を想定して構成した教材や、体験的な学習を取り入れることが適切だと考えられる教材の後には「学習の手引き」が示されており、児童が興味を持って、主体的に対話を通して学習に取り組むための工夫が見られる。 ○ ペアやグループでの学習形態が各所で示されており、児童の多様な個性を生かした学習が展開できるように配慮されている。また、「道徳ノート」の記述の蓄積により、児童の個性や能力に応じた成長の様子が把握できるようになっている。 ○ 他教科、領域の学習活動そのものを素材とした教材が開発、掲載されている。 ○ 巻頭に学習の内容や学習方法が示されている。また、写真やイラスト、図表が適切に配置されており、関連資料につながるURLが示されている。 					
4 表 現 関 関 と す 体 裁 こ 等 に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当該学年以上の漢字や固有名詞等の漢字には、全て振り仮名が付けられており、読みの抵抗が少なくなるように配慮されている。 ○ 教材の種類を示すアイコンや、6年間共通して登場するキャラクターの活用等、児童が親しみを持って学習に取り組めるように工夫されている。 ○ 教科書体を使用し、読みやすさに対して配慮されている。また、学年に応じた適切な文字の大きさ、文字量となっている。 ○ AB判を採用することで、写真やイラストが大きく掲載されている。 ○ 製本はあじろ綴じを採用しており堅ろうである。また、軽量化した再生紙、植物油インキを使用するなど、環境への配慮が見られる。 					

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 0 8	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道 徳 1 3 8 2 3 8 3 3 8 4 3 8 5 3 8 6 3 8	書 名	しょうがく どうとく ゆたかな ころ 1ねん 小学 どうとく ゆたかな ころ 2年 小学 どうとく ゆたかな 心 3年 小学 どうとく ゆたかな 心 4年 小学 道徳 ゆたかな 心 5年 小学 道徳 ゆたかな 心 6年
			光 文				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 道徳で学習したことが日常生活で生かされ、また、日常生活から問いを見つけて道徳の学習へ返っていくというスパイラルでの学習がオリエンテーションのページで示され、児童の主体的な学習態度につながるように工夫されている。 ○ 現代的な課題の対応やいじめ防止に関する教材が各学年で設定されている。 ○ 言語活動や体験的な学習、問題解決的な学習を通して考える教材が設定されており、より深い学びを引き出し、学習意欲が高まるように工夫されている。 ○ 重点的な指導を必要とする「生命の尊さ」については、6年間の系統性に配慮し、学習の充実をより図ることができるように工夫されている。 ○ 著名人の話や実話、定番の読みものなど、多様な教材が用意され、内容もバランスよく配置されている。また、教材の出所、出典が明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学習指導要領に示された全ての内容項目について、年間を通してバランスよく配列されている。 ○ ねらいが明確になるよう「内容項目別教材一覧」が設定されており、主たる内容項目と関連性のある内容項目が分かるように配慮されている。 ○ 重点的な指導を必要とする事柄について連続的に扱うことで、より効果が得られる教材を「重点主題」として設定し、取り扱いの工夫ができるように配慮されている。 ○ 付録教材が1年生で6点、2～6年生で5点ずつ用意され、各学校の実態に応じた指導ができるように配慮されている。 ○ 地域に根付く伝統や文化、行事、先人等、児童にとって身近なものも教材としている。また、どの地域においても活用できるよう工夫がなされている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ キャラクターを通して様々な問い掛けを提示し、物事を多面的・多角的に考えられるように工夫されている。 ○ 教材の冒頭に発問を配置し、道徳的価値の理解を深めるために段階を経て、主体的・対話的で深い学びにつなげられるよう工夫されている。 ○ 自己評価シートで児童が学びの振り返りができ、自己の生き方について考えを深めることができるように工夫されている。 ○ 世界や日本の文化遺産のコラムで社会科と関連付けたり、読みもの教材で特別活動と関連付けたりするなど、多様な学習が行えるように工夫されている。 ○ オリエンテーションのページでは学び方やノートの例が掲載されている。挿絵や写真が大きく、場面を想像しやすいように工夫されている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字は前学年までに学習した漢字の使用を基本とし、3年生までは全ての漢字に振り仮名を付け、児童が読みやすいように配慮されている。 ○ A4判よりも大きい紙面となっており、スペースが広く見やすく配慮されている。キャラクターやマークを取り入れ、児童が親しみを感じるように配慮されている。 ○ 活字の大きさや字体を教材によって工夫したり、落ち着いた色彩で統一したりするなど、見やすい紙面となっている。 ○ マークやキャラクターの配置といった紙面構成が統一されており、児童が学習の流れをつかみやすい工夫がなされている。 ○ 印刷には植物油インキを使い、製本には針金を使用しないなど、環境への配慮がなされている。また、紙の厚みを抑えて軽量化が図られている。 						

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 2 4	教 科 書 の 記 号 ・ 番 号	道徳 1 3 9 2 3 9 3 3 9 4 3 9 5 3 9 6 3 9	書 名	新みんなのどうとく1ねん 新みんなのどうとく2年 新みんなのどうとく3年 新みんなの道徳4年 新みんなの道徳5年 新みんなの道徳6年
			学研				
1 内容に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「プラス思考」「未来志向」を備えた児童の育成を目指し、問題意識を生み出す仕掛け、活動の工夫、学びを広げるためのページ等、内容が工夫されている。 ○ いじめ防止につながる教材が多数用意されている。また、配列も直接的・間接的にアプローチができるようバランスが考えられ、複数時間で扱えるように配慮がなされている。 ○ 巻頭に自分を見つめるページ、巻末に1年間の学びを振り返るページを設定し、児童が1年間の成長を感じ、これからの生き方を考えられるように工夫されている。 ○ 〈深めよう〉〈つなげよう〉〈やってみよう〉〈広げよう〉の4種類の「学び方のページ」が設けられ、学習の充実と発展を図ることができるように工夫されている。 ○ 「問い」が生まれる教材や読み継がれる教材、現代的な課題の取組を促す教材等、多様であり、バランスもよい。また、教材文の他に挿絵についても出所が明示されている。 						
2 組織と配列に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学年部ごとに設定した重点テーマを系統的に配列し、2年間連続して学べるよう教材を配列する工夫がなされ、学習の効果が上がるように配慮されている。 ○ 1年間で学ぶ道徳の全体像を確認できる見開きページが設定されており、教材が内容項目によってまとめられ、ねらいも明示されている。 ○ 自立した人間として、他者と共によりよく生きるための「いのちの教育」を全学年の重点とし、その教材3点を連続して配列している。さらに、他の内容項目と関連させる配慮がなされている。 ○ 内容項目の数や分量は、バランスよく組織されている。また、1年生は34点、2～6年生は35点の教材が準備され、各学校の年間指導計画に適合しやすい配慮がなされている。 ○ 時期を考慮し、児童の生活に合わせた教材の配列がなされている。 						
3 学習と指導に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自分たちの生活の中で起こり得る葛藤場面に対して、異なる複数の意見を提示して比較させるなど、多面的・多角的に考えさせる工夫がなされている。 ○ 児童が考えを深めるような問いを設けたり、考えをまとめてから話し合ったりするなど、道徳的価値を主体的に自分との関わりで捉え、多様な考えと交流できるよう工夫されている。 ○ 児童が考えを深め、自己を見つめるきっかけとなる問い掛けを教材後半に記載したり、考えを書き込むスペースを設けたりするなど、多様な考え方を引き出す工夫がなされている。 ○ 巻末に、全ての教材に対して他教科との関連が示されている。教科名に加え教科の内容も記載され、関連付けて指導しやすいように配慮されている。 ○ 挿絵は教材文ごとに適したイメージで描かれ、児童が場面を想起しやすい工夫がなされている。 						
4 表現と体裁等に 関すること	<ul style="list-style-type: none"> ○ 漢字・振り仮名は学年に応じた配慮がなされ、教材文は読みやすく改行するなど、表記、表現が適切である。 ○ 分かりやすいマークを採用し、児童が親しみやすい工夫がなされている。また、全ての教材が見開きで始まり、教材に集中できる工夫がなされている。 ○ A4判を採用しているため活字が大きく、字体も読みやすいものに統一されている。また、色彩も柔らかかで落ち着いている。 ○ 教材文の読みやすさや場面の想像しやすさを考慮し、挿絵と写真の大きさや配置について工夫されている。 ○ リサイクル性の高いのりを使い、環境に配慮した紙・植物油インキを採用するなど、環境への配慮がなされている。 						

種 目	道 徳	発 行 者 の 番 号 ・ 略 称	2 3 2	道 徳	道 徳	書 名
			教科書の記号・番号			
1 内 容 関 に す る こ と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 本冊と別冊の2冊で構成されており、併用することで人の生き方のよさや自分自身について考えを深め、道徳の目標が達成できるように工夫されている。 ○ いじめに向かわない態度の育成の基盤となる道徳性の育成を目指し、「人権」「いじめ防止」について、様々な角度から考察できる教材が各学年に掲載されている。 ○ スポーツ選手や歴史上の人物に関する教材、童話や漫画、感動教材等、多様な教材が取り上げられており、児童の学習意欲を高めるように工夫されている。 ○ 児童が主体的に考えを深められるような教材、多様な指導法を工夫することのできるような教材等バランスよく精選されている。 ○ 多様な見方や考え方のある事象、多様な生き方等が描かれている教材を選定しており、内容の出所、出典が明示されている。 					
2 組 織 関 と す 配 る 列 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 低学年は場面絵を多くして視覚的に内容理解がしやすいもの、高学年になるにつれ抽象的な思考を促すような教材を増やし、考えを深められるように配慮されている。 ○ 「生命の尊さ」「親切、思いやり」「善悪の判断、自律、自由と責任」に関する教材を3点ずつ掲載し、指導の重点化が図れるようにしている。 ○ 別冊には学習の記録、体験活動の記録、話し合い活動の記録等のページがあり、各学校の実態に応じた年間指導計画に柔軟に対応できるように工夫されている。 ○ 教材は各学年の発達の段階に適した長さになっており、別冊ノートの書き込み欄も3年生までは升目、4年生以上は罫線と、負担感を持たないように工夫されている。 ○ 児童の日常生活と関連する内容や現代的な課題に関する内容等、多様な教材が掲載されており、地域や児童の実態に応じて指導することができるように配慮されている。 					
3 学 習 関 と す 指 導 こ に と	<ul style="list-style-type: none"> ○ 書くことを通して道徳的諸価値についての理解を深めるために、別冊ノートに毎時間自分の考えを書き込んでいけるように構成されている。 ○ 道徳的価値のよさを理解し、自分との関わりで捉え、発展させたりすることができるような教材を問題解決的な学習を促す教材として配置するなど工夫されている。 ○ 別冊ノートは内容項目ごとにページが構成されており、児童が自分の考えを比較したり、成長を実感したりすることに役立つと共に、評価にも活用しやすくなっている。 ○ 本冊の「学習を広げる」には、関連する本や人物が紹介されており、他教科との関連を図ることができるように工夫されている。 ○ 挿絵全体が明るく鮮明で、人物の表情が豊かに描かれ、児童が場面のイメージを広げる手助けとなっている。また、関連資料につながるURLが示されている。 					
4 表 現 関 と す 体 裁 こ 等 と に	<ul style="list-style-type: none"> ○ 当該学年の配当漢字を含む未習の漢字については、全てに振り仮名が付けられ、児童の読み取りに個人差が出ないように配慮されている。 ○ AB判を採用し、白を基調としたゆとりある紙面で、圧迫感がないように構成されている。挿絵が大きく、教材に魅力を感じることができるように工夫されている。 ○ 本冊と分冊ノートにそれぞれ対応するページが明記されており、効果的に使用できるように配慮されている。 ○ 本冊の背に厚みを取り、見返しを付けて強度を高めることで、分冊ノートを本冊巻末に収納できるように工夫されている。 ○ 環境への配慮から、印刷は植物油インキが使用され、本冊には発色の良い紙、分冊には鉛筆で書きやすい紙等、使用用途を踏まえた再生紙が用いられている。 					